USA's primary source for projector lamps

myprojectorlamps

プロジェクター所有者の取扱説明書

Optoma

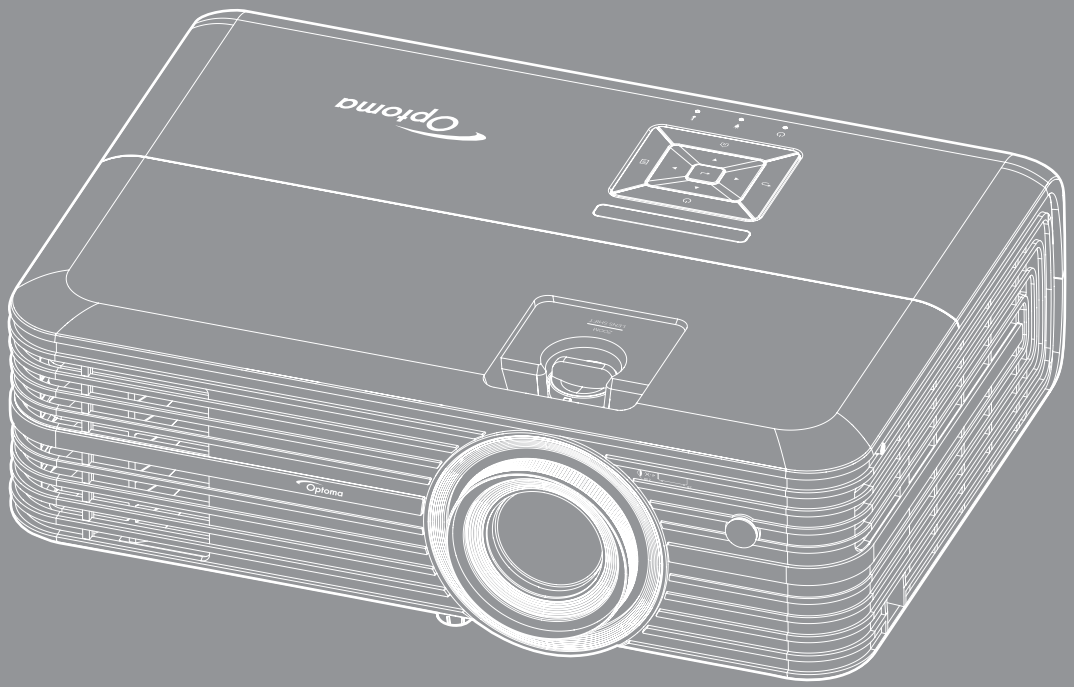
UHD52ALV

このプロジェクターの交換用ランプが必要ですか？

www.mplamps.co.jp

メーカーオリジナル取扱説明書。MyProjectorLamps.comの厚意として、修正せずに提供しています。
すべての商標は、それぞれの所有者の所有物です。

DLP® プロジェクター



ユーザーマニュアル

目次

安全 4

安全に関するご注意 4
レンズの清掃 5
3D 安全情報 6
著作権 7
免責条項 7
商標認識 7
FCC 7
EU 諸国への適合宣言 8
WEEE 8

はじめに 9

パッケージの内容 9
標準アクセサリ 9
オプションのアクセサリ 9
製品の各部名称 10
接続 11
キーパッド 12
リモコン 13

設定と設置 14

プロジェクターを設置する 14
ソースをプロジェクターに接続する 15
投射画像の調整 16
リモコンの準備 17

プロジェクターを使用する 19

プロジェクターの電源を入れる/切る 19
入力ソースを選択する 21
ホーム画面の概要 22
プロジェクター設定 23
アプリケーション設定 37
アプリケーション設定 49
一般設定 50

保守管理 56

ランプの交換 56
ダストフィルターの取り付けと洗浄 58

追加情報 59

対応解像度 *59*
イメージサイズと投射距離 *61*
プロジェクターの寸法と天井取り付け *62*
IR リモートコード *63*
トラブルシューティング *64*
警告インジケータ *66*
仕様 *68*
Alexaのセットアップ *69*
Optoma 社グローバルオフィス *70*

安全

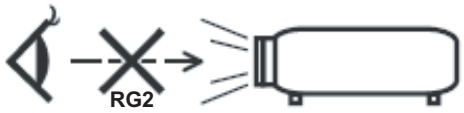
	正三角形内部の矢印の付いた稲妻は、製品の筐体内部に感電の恐れのある、絶縁されていない「危険な電圧」が相当な規模 で存在していることをユーザーに警告するものです。
	正三角形内部の感嘆符は、機器に付属するマニュアルに、重要な操作およびメンテナンス (修理点検など) に関する指示があることをユーザーに警告するものです。

この取扱説明書で推奨されたすべての警告、安全上のご注意およびメンテナンスの指示に従ってください。



感電を防止するため、装置およびその周辺装置を適切に接地（アース）してください。

安全に関するご注意

- ランプの有効寿命を延ばすため、必ず、ランプを少なくとも 60 秒間オンにし、強制シャットダウンを避けてください。
- 

光線を目に入れないでください (RG2)。
あらゆる明るい光源と同様に、光線を直接目に入れないでください (RG2 IEC 62471-5:2015)。
- 通気孔を塞がないでください。プロジェクターを過熱から守り、正常な動作を保つため、通気孔を塞がないような場所に設置してください。飲み物等が置かれたコーヒーテーブルや、ソファ、ベッドにプロジェクターを置かないでください。また、本棚、戸棚など風通しの悪い狭い場所に置かないでください。
- 火事や感電のリスクがありますので、プロジェクターを雨や湿気にさらさないでください。ラジエータ、ヒーター、ストーブまたは熱を発生するその他の機器 (アンプを含む) など、熱源のそばに設置しないでください。
- プロジェクター内部に、異物や液体が入らないよう、ご注意ください。危険な電圧部分に触れて、部品がショートしたり、火災、感電を引き起こす原因になります。
- 以下のような環境下では使用しないでください。
  - 極端に気温の高い、低い、あるいは湿気の多い場所。
    (i) 室温が 5°C ～ 40°C の範囲に保たれていることを確認します
    (ii) 相対湿度は 10% ～ 85% の範囲です
  - 大量のほこりや汚れにさらされる場所。
  - 強い磁場が集まる装置の傍に置く。
  - 直射日光の当たる場所。
- 可燃性ガスや爆発性ガスが空気中に含まれる可能性がある場所でプロジェクターを使用しないでください。プロジェクターの使用中、中のランプが高温になり、ガスが発火し、火災が発生することがあります。
- 物理的に破損している、または乱用された痕跡のある装置は使用しないでください。物理的なダメージや酷使とは以下の通りです (ただしこれらに限定されません):
  - 装置を落とした。
  - 電源装置のコードまたはプラグが壊れている。

- プロジェクターに液体をこぼした。
- プロジェクターを、雨や湿気にさらしてしまった。
- プロジェクター内部に何らかの異物を落とした。または、内部で何かが緩んでいる音がする。

- 不安定な場所にプロジェクターを置かないでください。プロジェクターが落下して壊れたり、人身事故を起こす可能性があります。
- プロジェクターの使用中、プロジェクターのレンズから発せられる光を遮断しないでください。光が物体を暖め、溶解、火傷、火災などを引き起こす恐れがあります。
- プロジェクターのカバーを外したり、本体を分解したりしないでください。感電の原因になります。
- お客様自身でこのプロジェクターを修理しないでください。カバーを開けたり取り外したりすると、危険な電圧やその他の危険にさらされます。本機を修理に出す前に、Optoma にお電話ください。
- 安全に関係するマーキングについては、プロジェクターの筐体をご覧ください。
- 本機の修理は、適切なサービススタッフだけに依頼してください。
- メーカー指定の付属品/アクセサリーのみをご使用ください。
- プロジェクターの使用中、プロジェクターのレンズを直視しないでください。強力な光線により、視力障害を引き起こす恐れがあります。
- ランプを交換する際は、ユニットの熱が冷めるまでお待ちください。*56-57* ページに記載されている指示に従ってください。
- 本プロジェクターは、ランプの寿命を自動的に検知します。警告メッセージが表示されたら、必ずランプを交換してください。
- ランプモジュールを交換した場合は、オンスクリーン表示の [ランプリセット] にある [ランプ設定] 機能を使用してリセットします。
- プロジェクターの電源を切るときは、冷却サイクルが完了したことを確認してから、電源コードを抜いてください。プロジェクターは、少なくとも 90 秒間、放熱させてください。
- ランプの寿命が近づくと、[ランプ寿命が過ぎています] というメッセージが画面上に表示されます。できるだけ速やかに、最寄りの販売店またはサービスセンターに連絡して、ランプを交換してください。
- 本体のスイッチをオフにして、電源プラグをコンセントから抜いてから、本機をクリーニングしてください。
- ディスプレーの筐体を洗浄する際は、中性洗剤と柔らかい乾いた布をご使用ください。本体を研磨剤、ワックス、溶剤で洗浄しないでください。
- 本機を長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

注記: *ランプが寿命に達すると、ランプモジュールを交換するまでプロジェクターの電源は入りません。[ランプの交換] (56-57 ページ) に記載の手順に従ってランプを交換してください。*

- *振動や衝撃を受けるような場所にプロジェクターを設置しないでください。*
- *レンズを素手で触らないでください。*
- *保管前にリモコンから電池を取り外してください。長期間、電池がリモコンに入っていると、液漏れが発生する恐れがあります。*
- *石油または煙草からの煙が存在する可能性がある場所でプロジェクターを使用または保管しないでください。プロジェクターの性能が低下する可能性があります。*
- *プロジェクターは正しい向きで設置してください。標準的な設置方法でなければ、プロジェクターの性能が低下する可能性があります。*
- *電源ストリップ、および/または、サージプロテクタを使用してください。停電または電圧低下により装置が破損する恐れがあります。*

レンズの清掃

- レンズを清掃する前に、必ず、プロジェクターの電源を切り、電源コードを切断し、完全に冷却させてください。
- 埃を取り除くために、圧縮空気タンクを使用してください。

- レンズ清掃用の特殊布を使用し、レンズを優しく拭いてください。レンズを指で触らないでください。
- レンズの清掃に、アルカリ性/酸性の溶剤またはアルコールなどの揮発性の溶剤を使用しないでください。清掃処理により、レンズが損傷した場合、保証の対象とはなりません。



警告：レンズから埃または汚れを取り除くために、可燃性ガスを含むスプレーを使用しないでください。プロジェクター内部の過度の熱より、火災が発生する可能性があります。



警告：レンズ表面のフィルムが剥がれる可能性がありますので、プロジェクターがウォームアップ中は、レンズを清掃しないでください。



警告：硬い物でレンズを拭いたり、叩いたりしないでください。

3D 安全情報

推奨されるすべての警告と安全上の注意に従った上で、ご自身またはお子様が 3D 機能をご利用ください。

警告

幼児及び 10 代の方は、3D 鑑賞に関連する健康問題により影響を受けやすくなっています。よって、これらの画像を見る際は十分にご注意ください。

光感受性発作の警告及びその他健康面におけるリスク

- プロジェクターの画像やビデオゲームに含まれる点滅画面やライトに曝されると、一部視聴者はてんかん症状や発作を起こす恐れがあります。そのような症状が発生した場合又はてんかんや発作の家族歴がある場合、3D 機能をご使用いただく前に、医療専門家にご相談ください。
- てんかんや発作の個人歴又は家族歴がない方でも、光感受性てんかん発作を引き起こす診断未確定症状が現れる場合があります。
- 妊婦、高齢者、重症患者、不眠症患者やアルコール依存症の方は、当装置の 3D 機能のご使用はお控えください。
- 以下の症状を経験されたことがある方は、ただちに 3D 画像の鑑賞を中止し、医療専門家にお問い合わせください: (1) 視覚の変化、(2) 軽い頭痛、(3) 眩暈、(4) 眼や筋肉の引き攣りといった無意識の動作、(5) 混乱状態、(6) 吐き気、(7) 意識喪失、(8) 痙攣、(9) 急激な腹痛、及び (又は) (10) 見当識障害。幼児及び 10 代の方は大人よりこれらの症状が出やすいとされています。ご両親はお子様を監督され、これらの症状が出ていないかお尋ねください。
- 3D 投射の鑑賞はまた、吐き気、知覚後遺症、見当識障害、眼精疲労、姿勢の安定性減少をもたらす恐れがあります。ユーザーはこれらの影響の可能性を削減するために、頻繁に休憩を取ることが推奨されます。目に疲労や乾き、又は上記のどれか症状が出現した場合、ただちに当機器のご使用を中止いただき、症状が落ち着いてから最低 30 分はご使用をお控えください。
- 長時間、かなり画面の近くに座って 3D 投射を鑑賞すると、視力にダメージを与える恐れがあります。理想的な鑑賞距離は、画面高さの最低 3 倍の距離となっています。また視聴者の目の位置が画面の高さにあることが推奨されます。
- 3D 眼鏡をかけながらの長時間にわたる 3D 投射の鑑賞は、頭痛や疲労を引き起こす恐れがあります。頭痛、疲労や眩暈を感じた場合、3D 投射の鑑賞を中止し、休憩してください。
- 3D投射の鑑賞以外の目的での 3D 眼鏡のご使用はお止めください。
- その他目的 (通常の眼鏡、サングラス、保護ゴーグルなど) のための 3D 眼鏡の着用は、肉体的傷害を引き起こしたり、視力の低下をもたらす恐れがあります。
- 3D 投射の鑑賞は、一部視聴者において見当識障害を引き起こす恐れがあります。よって、広い階段の吹き抜け、ケーブル、バルコニーやその他転んだり、衝突したり、倒れたり、壊れたり、落ちたりする可能性がある場所の傍に 3D プロジェクターを設置しないでください。

著作権

この出版物は、すべての写真、イラスト、ソフトウェアを含め、著作権に関する国際法の下で保護され、無断複写・転載が禁じられます。このマニュアルもこの中に含まれるいかなる素材も作者の書面による同意なしで複製することはできません。

© 著作権 2018

免責条項

本書の情報は予告なしで変更されることがあります。製造者は本書の内容についていかなる表明も保証もせず、特に、商品性または特定目的の適合性について、いかなる暗黙的保証も否定します。製造者は本出版物を改訂し、その内容を折に触れて変更する権利を留保します。ここで、かかる改訂または変更を通知する義務は製造者にないものとします。

商標認識

Kensington は ACCO Brand Corporation の米国登録商標であり、世界中の他国で登録され、あるいは登録申請中になっています。

HDMI、HDMI ロゴ、High-Definition Multimedia Interface は米国とその他の国における HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。

DLP®、DLP Link、DLP ロゴは Texas Instruments の登録商標です。BrilliantColor™ は Texas Instruments の商標です。

Amazon、Alexa および関連するロゴは、Amazon.com,Inc. またはその関連会社の商標です。

本書に記載されているその他すべての製品名はそれぞれの所有者の財産であり、認知されています。

FCC

本装置は、FCC 基準パート 15 に準ずる Class B のデジタル電子機器の制限事項に準拠しています。これらの制限は、居住地において有害な干渉からの適切な保護を提供するために設定されております。本装置は高周波エネルギーを生成し使用しています。また、高周波エネルギーを放射する可能性があるため、指示に従って正しく設置しなかった場合は、無線通信に障害を及ぼす可能性があります。

しかし、干渉が個々の設置において発生しないと保証することはできません。本装置の電源を切ったり入れたりすることにより、本装置がラジオやテレビ受信に有害な干渉をもたらしていることが確認できる場合は、下記の手順で改善を試みてください:

- 受信アンテナの再設定又は移動。
- 本装置と受信機の距離を離す。
- 受信機の接続とは異なる回路のコンセントを本装置へ接続。
- 販売代理店又は資格のある無線/テレビ技術者へのお問い合わせ。

注意: シールドケーブル

その他コンピューターデバイスへの全ての接続は、FCC 規則を遵守するために、シールドケーブルを必ず使用して行ってください。

注意事項

本装置に対しメーカーが明確に認定していない変更や修正を加えると、連邦通信委員会で許可されているユーザー権限が無効になることがあります。

運転状況

本装置は、FCC 規則パート 15 に準拠しています。運転は、以下の 2 つの状況を前提とします:

1. 本装置は、有害な干渉を引き起こしてはならない。
2. 本装置は、不要な作動を引き起こす恐れのある干渉を含む干渉受信を許容する。

注意: カナダにお住まいのユーザーへ

当 Class B デジタル機器は、カナダ ICES-003 に準拠しています。

Remarque à l'intention des utilisateurs canadiens

Cet appareil numerique de la classe B est conforme a la norme NMB-003 du Canada.

EU 諸国への適合宣言

- EMC 指令 2014/30/EC (修正案を含む)
- 低電圧指令 2014/35/EC
- R & TTE 指令1999/5/EC (製品に RF 機能が搭載されている場合)

WEEE



廃棄物についての指示

当機器を処分する際、電子装置はゴミ箱に捨てないでください。汚染を最小限に抑え、最大限グローバルな環境を保護するために、リサイクルください。

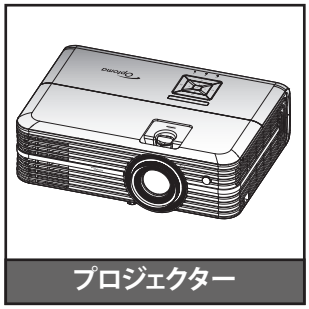
はじめに

パッケージの内容

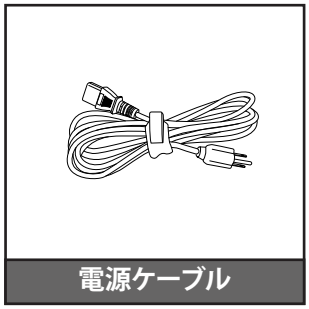
慎重に箱から取り出し、下の標準付属品に記載されている品目が揃っていることを確認します。オプションの付属品については、モデル、仕様、購入地域によっては入っていない場合があります。購入場所で確認してください。地域によっては付属品が異なる場合があります。

保証書は一部の地域でのみ同封されます。詳細については、販売店にお問い合わせください。

標準アクセサリ


プロジェクター


リモコン


電源ケーブル

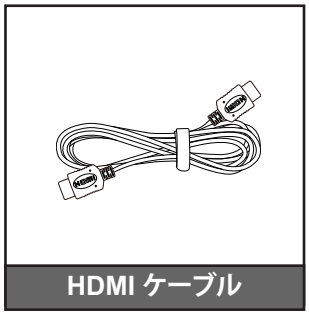
☑ 保証書*
☑ 基本ユーザーマニュアル

文書

注記:

- *実際のリモコンは、地域により変わることがあります。*
- *リモコンは電池と共に出荷されます。*
- ** 欧州の保証情報については、www.optoma.com アクセスしてください。*

オプションのアクセサリ

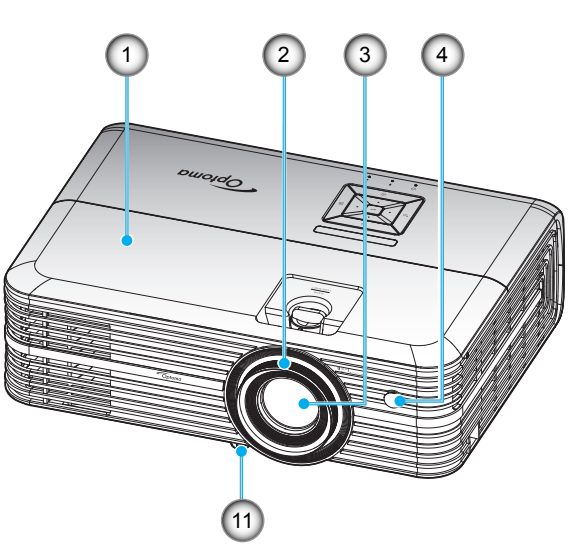

HDMI ケーブル

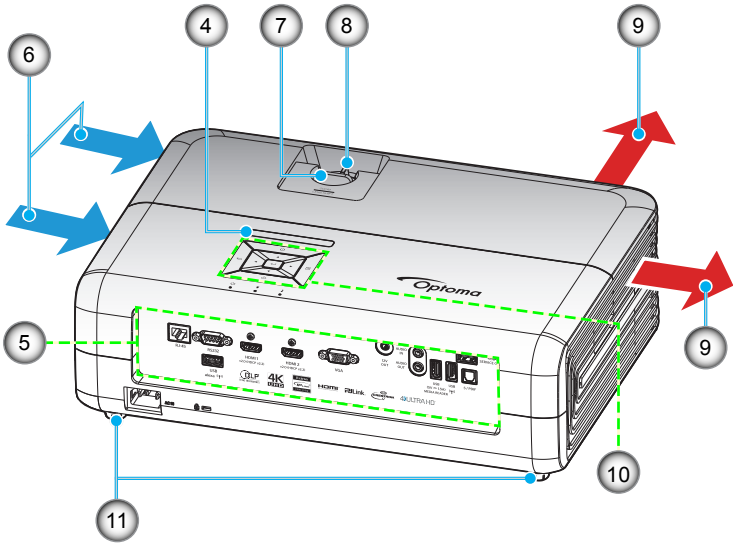

レンズキャップ

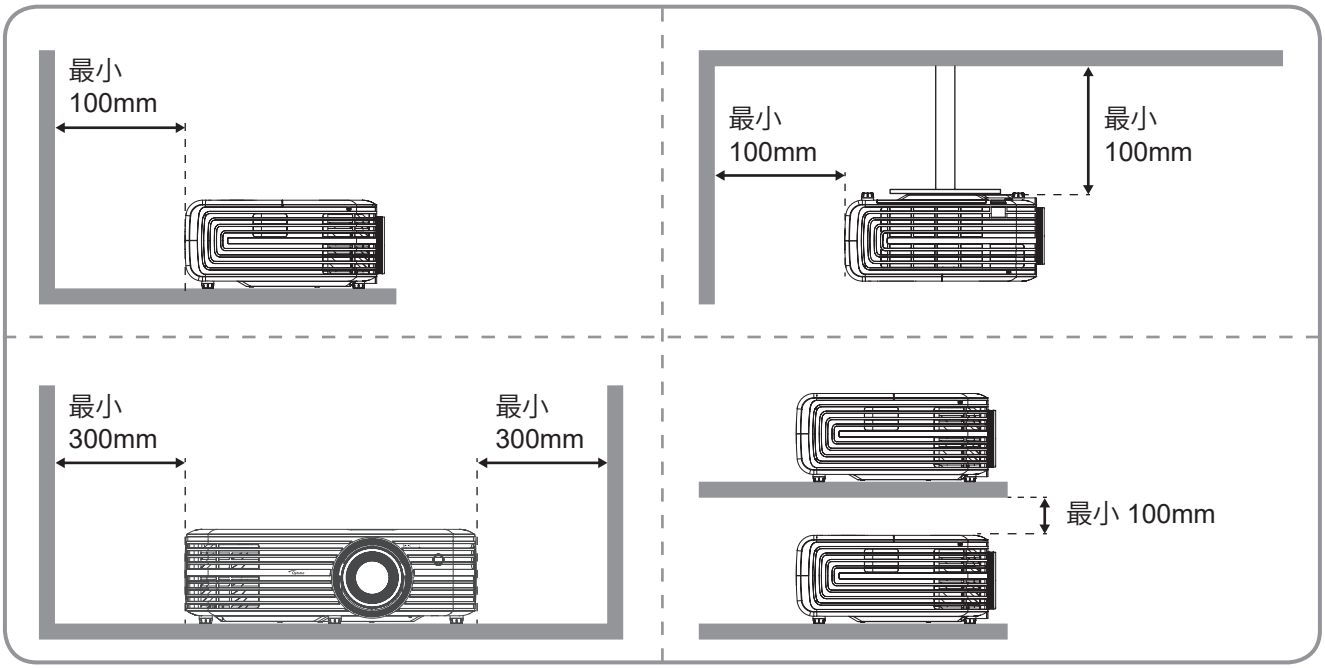
注記: *オプションのアクセサリは、モデル、仕様、地域によって異なります。*

はじめに

製品の各部名称







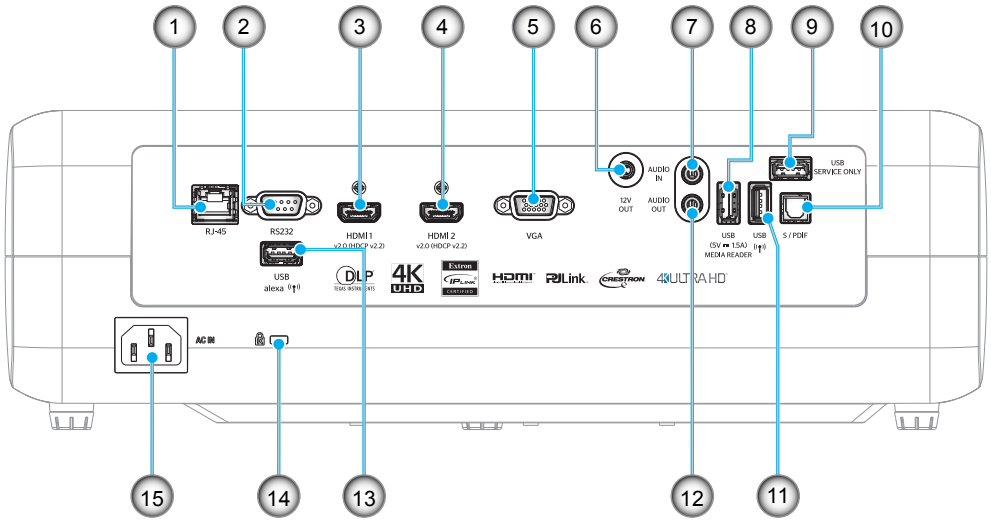
注記:

- *プロジェクターの吸気口または排気口を塞がないでください。*
- *プロジェクターを閉じられた空間で操作するときは、吸気口および排気口を少なくとも 30 cm 隙間をあけてください。*

番号	アイテム	番号	アイテム
1.	上部カバー	7.	レンズシフトダイアル
2.	フォーカス リング	8.	ズームレバー
3.	レンズ	9.	換気 (排気口)
4.	IR レシーバー	10.	キーパッド
5.	入/出力	11.	チルト調整フット
6.	換気 (吸気口)		

はじめに

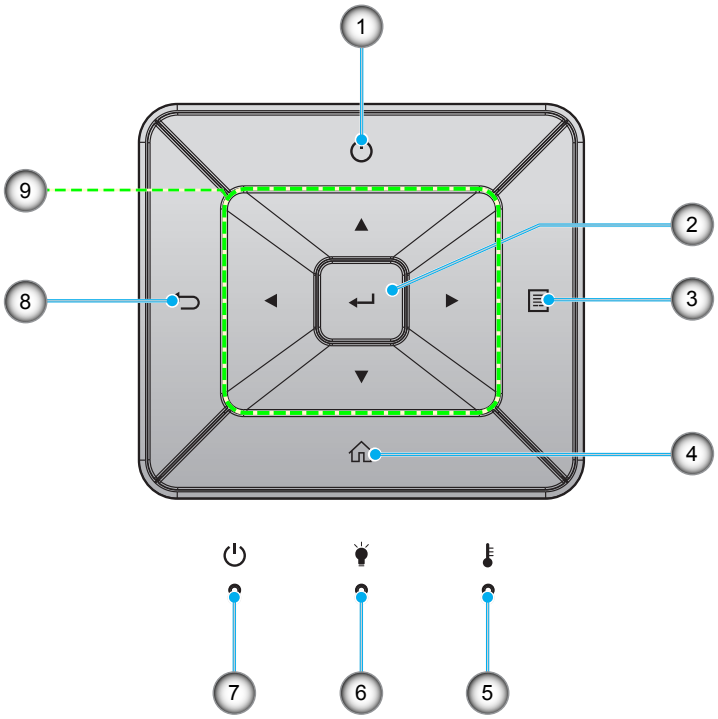
接続



番号	アイテム	番号	アイテム
1.	RJ-45 端子	9.	サービス端子
2.	RS232 端子	10.	S/PDIF 端子
3.	HDMI 1 端子	11.	USB2.0 端子
4.	HDMI 2 端子	12.	オーディオ出力端子
5.	VGA 端子	13.	USB-A 端子
6.	12V 出力端子	14.	Kensington™ ロック ポート
7.	オーディオ入力端子	15.	電源ソケット
8.	USB パワー出力 (5V⎓1.5A)/ USB3.0 端子		

はじめに

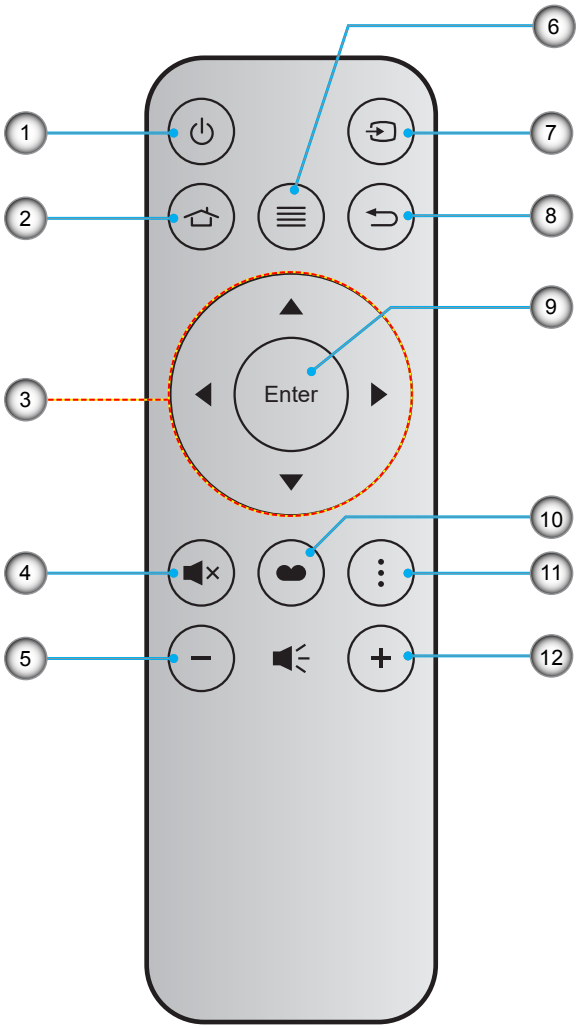
キーパッド



番号	アイテム	番号	アイテム
1.	消費電力	6.	ランプ LED
2.	入力	7.	オン/スタンバイ LED
3.	メニュー	8.	戻る
4.	ホーム	9.	4 方向選択キー
5.	温度 LED		

はじめに

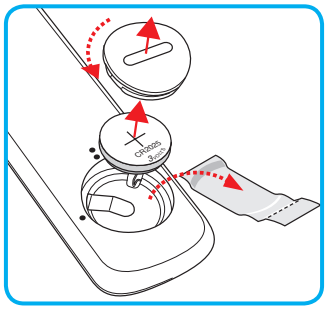
リモコン



番号	アイテム	番号	アイテム
1.	電源オン/オフ	7.	ソース
2.	ホーム	8.	戻る
3.	4 方向選択キー	9.	入力
4.	ミュート	10.	ディスプレーモード
5.	音量 -	11.	オプション
6.	メニュー	12.	音量 +

注記:

- *キーによっては、これらの特長をサポートしていないモデルの機能がない場合があります。*
- *初めてリモコンを使用する前に、透明の絶縁テープを剥がしてください。電池の取り付けについては、17 ページを参照してください。*

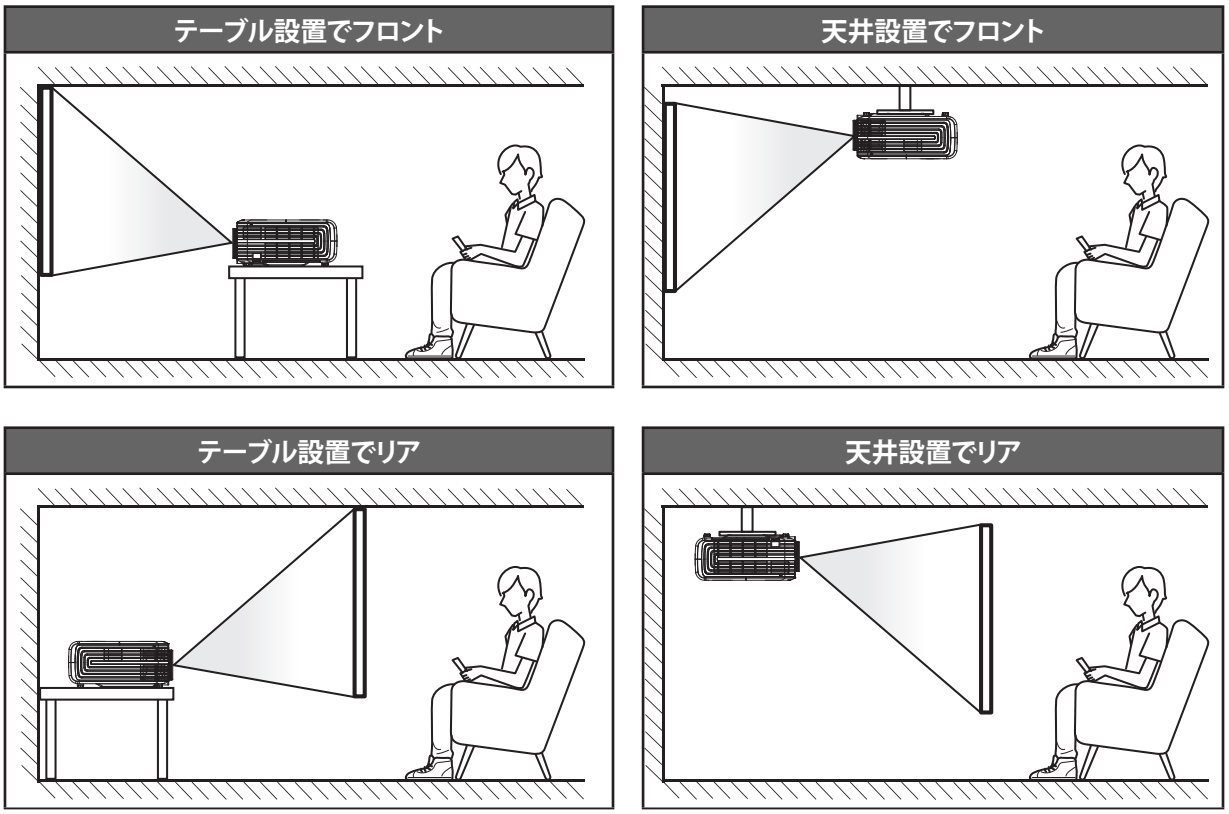


設定と設置

プロジェクターを設置する

このプロジェクターは設計上、4 つの設置方法のいずれかを選んで設置できます。

部屋の設計や個人の好みに合わせて設置方法を決めてください。スクリーンの大きさと位置、コンセントの場所、プロジェクターとその他の機材の位置と間の距離を考慮します。



プロジェクターは平らな場所に置き、スクリーンに対して 90 度/垂直にします。

- 特定のスクリーンサイズに対してプロジェクターの位置を決定する方法については、*61* ページの距離表を参照してください。
- 特定の距離に対してスクリーンサイズを決定する方法については、*61* ページの距離表を参照してください。

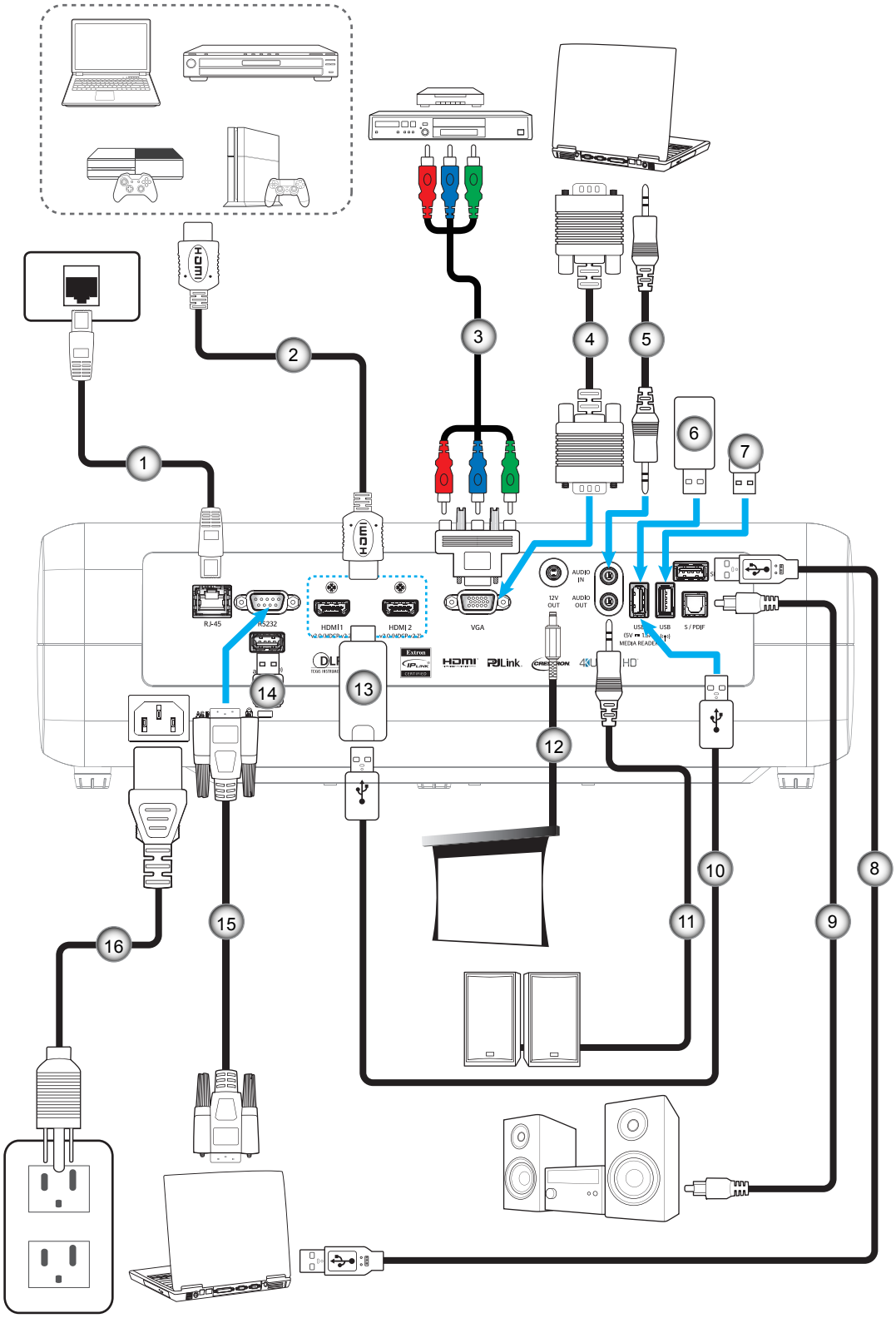
注記: *プロジェクターとスクリーンの間の距離が離れると、投射される画像がそれだけ大きくなり、垂直オフセットも比例して大きくなります。*

重要!

机上または天井取り付け以外の向きでプロジェクターを操作しないでください。プロジェクターは水平にし、前後または左右に傾けないようにしてください。それ以外の向きは保証を無効にします。また、プロジェクターランプまたはプロジェクター自体の寿命を短くする恐れがあります。非標準設置に関するアドバイスについては、Optoma にお問合せください。

設定と設置

ソースをプロジェクターに接続する



番号	アイテム	番号	アイテム	番号	アイテム	番号	アイテム
1.	RJ-45 ケーブル	5.	オーディオ入力ケーブル	9.	S/PDIF 出力ケーブル	13.	HDMI ドングル
2.	HDMI ケーブル	6.	USB フラッシュ ドライブ	10.	USB 電源ケーブル	14.	Alexa 用 Wi-Fi ドングル
3.	RCA コンポーネントケーブル	7.	Wi-Fi ディスプレー用 Wi-Fi ドングル	11.	オーディオ出力ケーブル	15.	RS232 ケーブル
4.	VGA 入力ケーブル	8.	サービス用 USB ケーブル	12.	12V DC ジャック	16.	電源コード

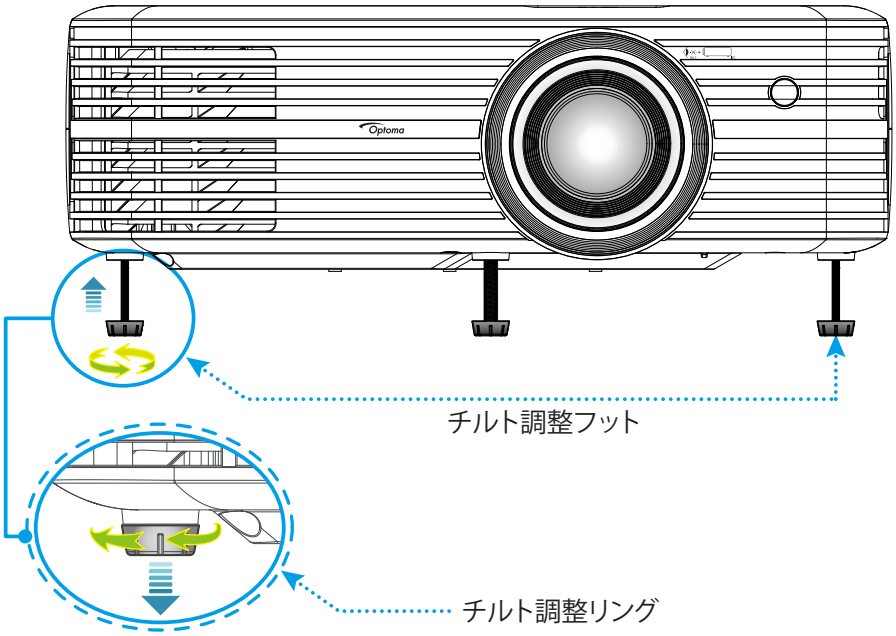
設定と設置

投射画像の調整

画像の高さ

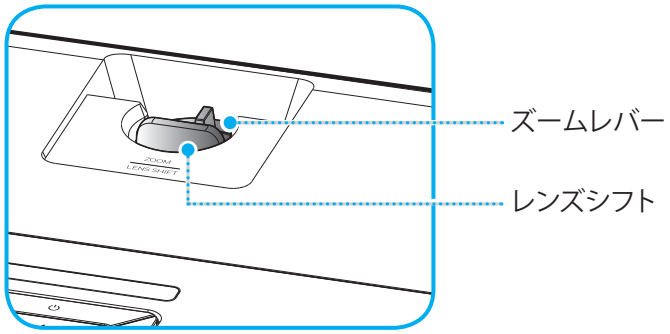
本プロジェクターには、投射映像の高さを調整するためのチルト調整フットがあります。

1. プロジェクターの底面の、変更したい調整フットを探します。
2. 調整フットを時計方向/反時計方向に回してプロジェクターを上げ下げします。



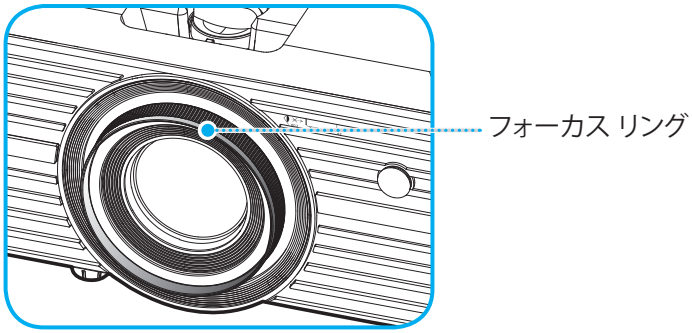
ズーム、レンズシフト、および、フォーカス

- 画像の大きさおよび位置を調整するには、以下を行ってください。
  a. 画像の大きさを調整するには、ズームレバーを時計方向または反時計方向に回し、投射される画像の大きくまたは小さくします。
  b. 画像の位置を調整するには、レンズシフトダイアルを時計方向または反時計方向に回し、投射される画像の位置を水平方向に調整します。



設定と設置

- フォーカスを調整するには、画像が鮮明になり、文字が読めるようになるまでフォーカスリングを時計方向または反時計方向に回します。

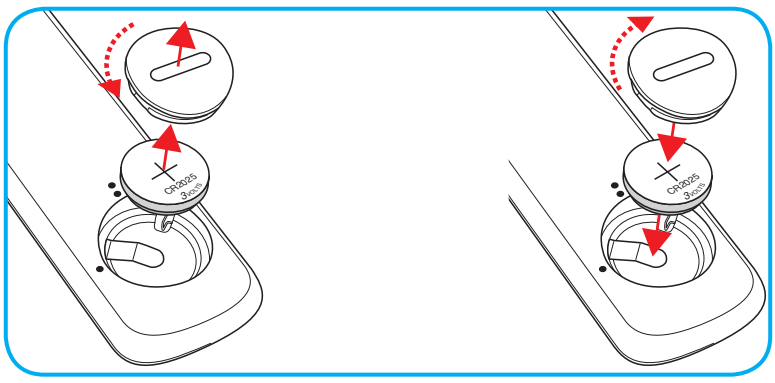


注記: *このプロジェクターは 1.2m ～ 8.1m の距離でピントを合わせることができます。*

リモコンの準備

電池の取り付け/交換

1. カバーが開くまでコインを使用して、電池カバーを反時計回りに回します。
2. コンパートメントに新しい電池を取り付けます。
   古い電池を取り外し、新しい電池を取り付けます (CR2025)。「+」のある面を必ず上に向けてください。
3. カバーを元のように取り付けます。次にコインを使用して、電池カバーを時計回りに回して、所定の位置に固定します。



注意事項:

安全な操作を保証するため、以下の注意事項を遵守してください。

- CR2025 タイプの電池を使用してください。
- 水または液体に接触させないようにしてください。
- リモコンを湿気または熱に曝さないでください。
- リモコンを落下させないでください。
- 電池がリモコン内で液漏れした場合は、慎重にケースをきれいに拭き取り、新しい電池を取り付けてください。
- 間違ったタイプの電池に交換すると爆発の危険性があります。
- 指示に従って、使用済電池を廃棄してください。

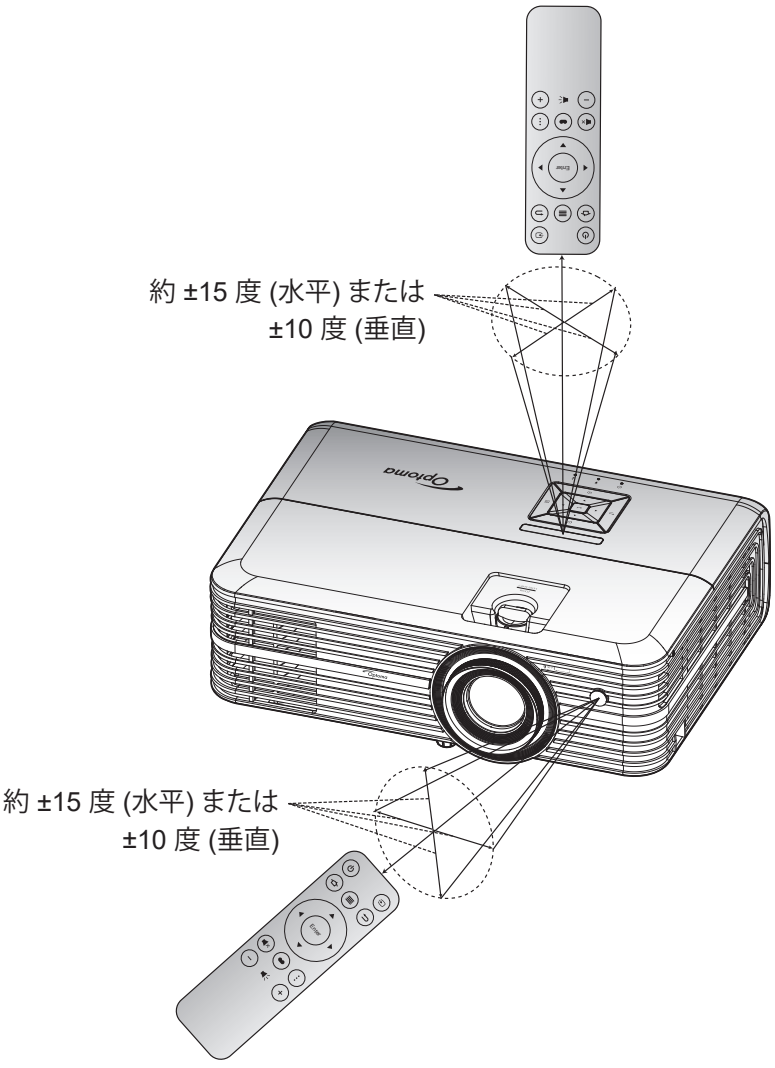
設定と設置

有効範囲

赤外線 (IR) リモコンセンサーはプロジェクターの上面にあります。プロジェクターの IR リモコンセンサーに対して 30 度 (水平) または 20 度 (垂直) 以内の角度でリモコンを向けると正常に動作します。リモコンとセンサーの間の距離は 7 メートル (22 フィート) 以内にする必要があります。

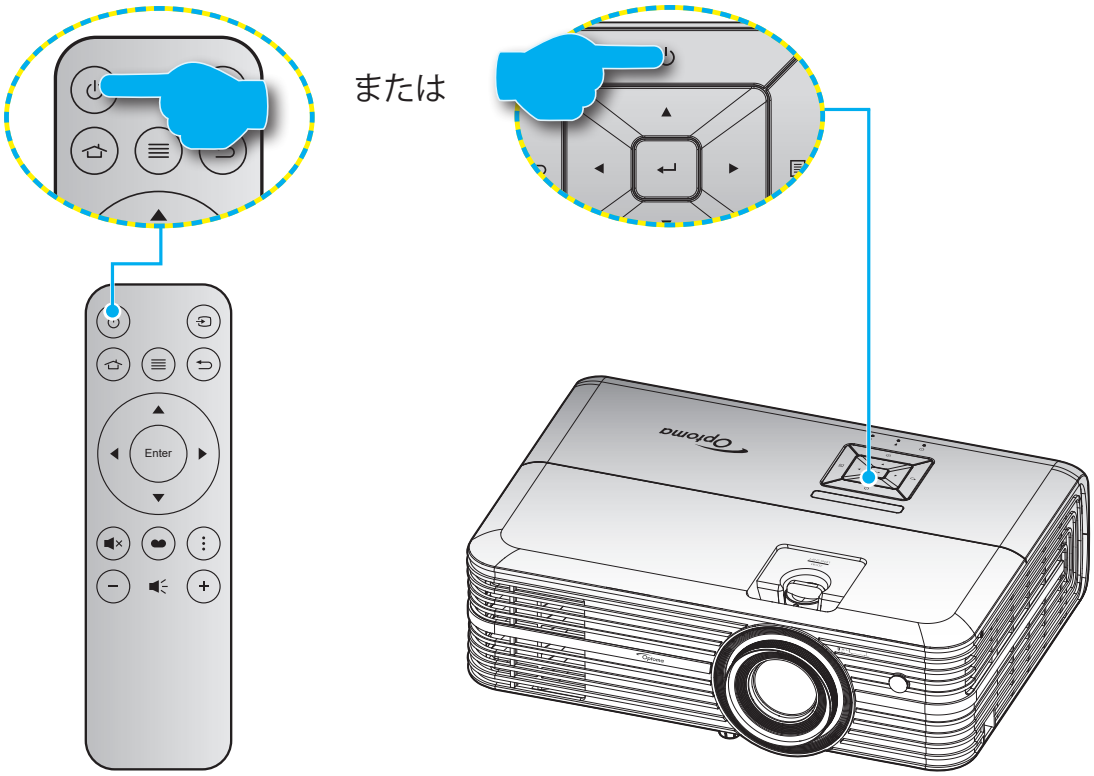
注記: *IR センサーに対して直接リモコンを向ける場合 (0 度の角度)、リモコンとセンサーの間の距離が、10 メートル (約 32 フィート) を超えないようにしてください。*

- リモコンとプロジェクターの IR センサーの間に赤外線ビームを遮断するような障害物がないことを確認します。
- リモコンの IR 伝送装置に太陽や蛍光灯の光を直接当てないでください。
- リモコンは蛍光灯から 2 メートル以上離さないと誤作動が起こることがあります。
- リモコンがインバータータイプの蛍光灯に近いと、動作しないことがあります。
- リモコンとプロジェクターの距離が近いと、リモコンが動作しないことがあります。
- スクリーンに向けるときは、リモコンからスクリーンまでの有効距離が 7 メートル以内であれば、IR ビームが反射してプロジェクターに届きます。ただし、有効範囲はスクリーンによって変わることがあります。



プロジェクターを使用する

プロジェクターの電源を入れる/切る



パワーオン

1. 電源コードとシグナル/ソースケーブルをしっかりと接続します。接続が済むと、オン/スタンバイ LED が赤く点灯します。
2. プロジェクターのキーパッドまたはリモコンの [⏻] を押し、プロジェクターの電源を入れます。
3. 起動画面が約 10 秒後に表示され、オン/スタンバイ LED が青色に点滅します。

初めてプロジェクターの電源を入れると、使用言語、投射方向、電源モード設定の選択を含む初期設定を行うように求められます。



[言語の選択]

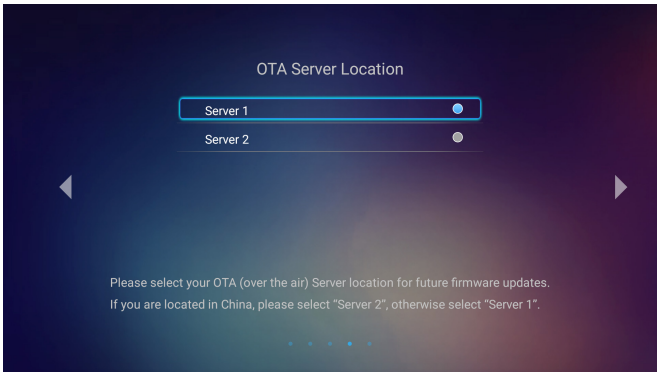


[投射モードの選択]

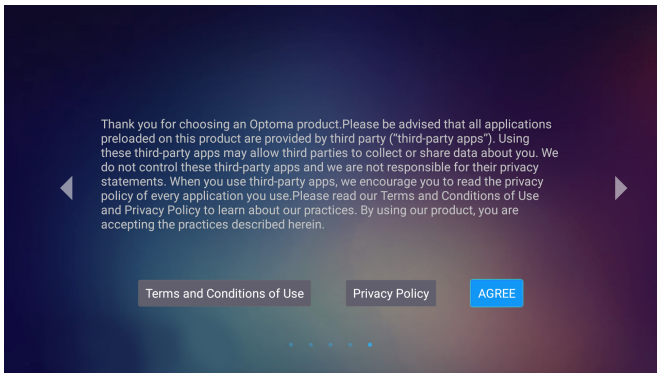
プロジェクターを使用する



[電源モードの選択]



[OTA Severの選択]



[規約]

電源オフ

1. プロジェクターのキーパッドまたはリモコンの [⏻] を押し、プロジェクターの電源を切ります。
2. 次のメッセージが表示されます。



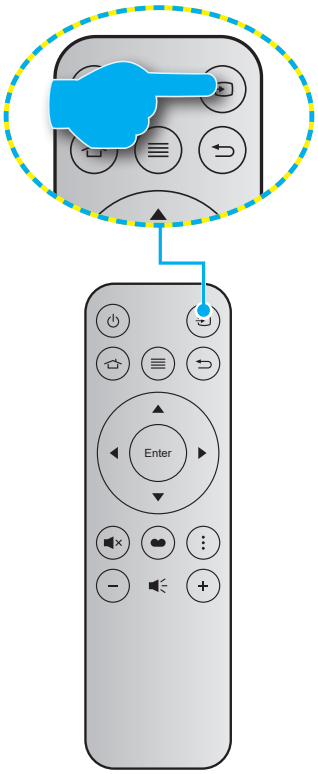
3. [⏻] ボタンを再び押して確認します。ボタンを押さない場合、15 秒後にメッセージが消えます。2 回目に [⏻] ボタンを押すと、プロジェクターはシャットダウンします。
4. 冷却ファンが約 10 秒間作動し続けて冷却を行うと、オン/スタンバイ LED が緑色または青色に点滅します。オン/スタンバイ LED が赤色に点灯すると、プロジェクターはスタンバイモードに入っています。プロジェクターの電源を再び入れる場合、冷却サイクルを終了し、スタンバイモードに入るまで待つ必要があります。プロジェクターがスタンバイモードに入ったら、[⏻] ボタンを押すだけでプロジェクターの電源が再び入ります。
5. 電源コードをコンセントとプロジェクターから抜きます。

注記: *電源を切った直後にプロジェクターの電源を入れる行為は推奨されません。*

プロジェクターを使用する

入力ソースを選択する

スクリーンに表示する接続ソース (コンピューター、ノート パソコン、ビデオ プレーヤーなど) の電源を入れます。プロジェクターは、ソースを自動的に検出します。複数のソースが接続されている場合、プロジェクターのキーパッドまたはリモコンの [⮆] ボタンを押し、入力を選択します。



プロジェクターを使用する

ホーム画面の概要

プロジェクターを起動するたびにホーム画面が表示されます。メインホーム画面からは、基本的に 3 つのカテゴリ (プロジェクター、アプリケーションおよび設定) に分かれています。

ホーム画面をナビゲートするには、リモコンまたはプロジェクターのキーパッドを使用します。

現在のページに関係なく、リモコンの ⌂ またはプロジェクターのキーパッドの ⌂ を押すと、いつでもメインのホーム画面に戻ることができます。



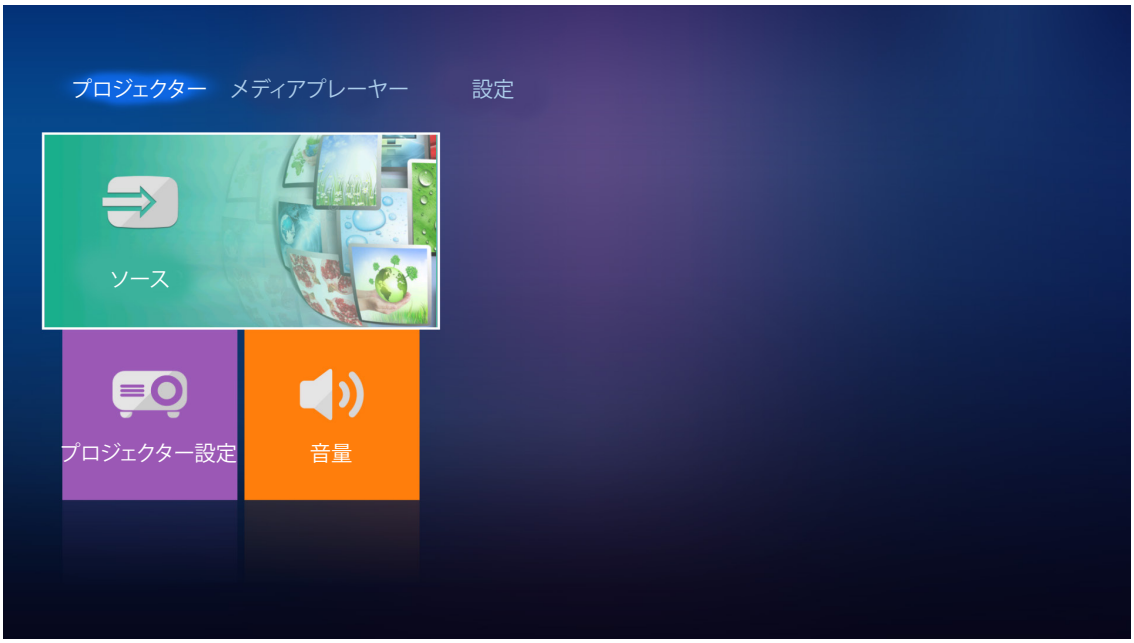
プロジェクターを使用する

プロジェクター設定

プロジェクターのホーム画面で、入力ソースを変更したり、プロジェクター設定を構成したり、音量レベルを調整したりすることができます。

入力ソースを選択する

リモコンの [⏻] ボタンを押して、所望の入力を選択する以外に、**ソース** オプションを選択して、入力ソースを変更することもできます。次にリモコンの**入力**またはプロジェクターのキーパッドの ↵ を押して、**ソース**メニューに入ります。



利用可能な入力ソースのオプションが画面に表示されます。



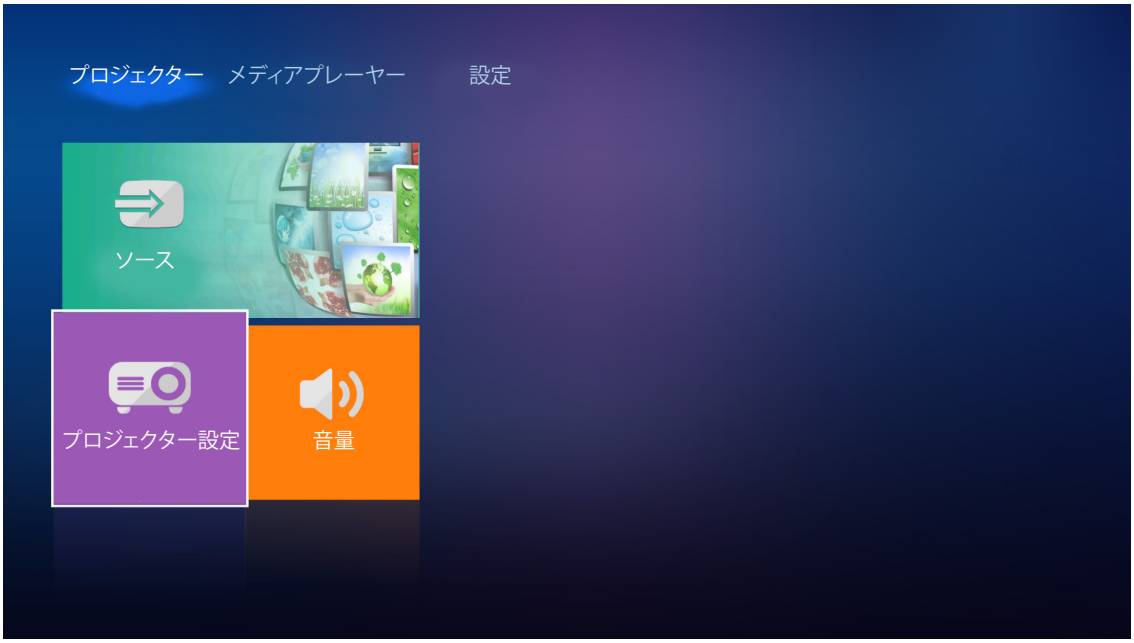
所望の入力ソースを選択し、リモコンの**入力**またはプロジェクターのキーパッドの ↵ を押して、選択を確認します。

注記: *デフォルトで、入力ソースは**メディア**に設定されます。*

プロジェクターを使用する

プロジェクター設定を行います。

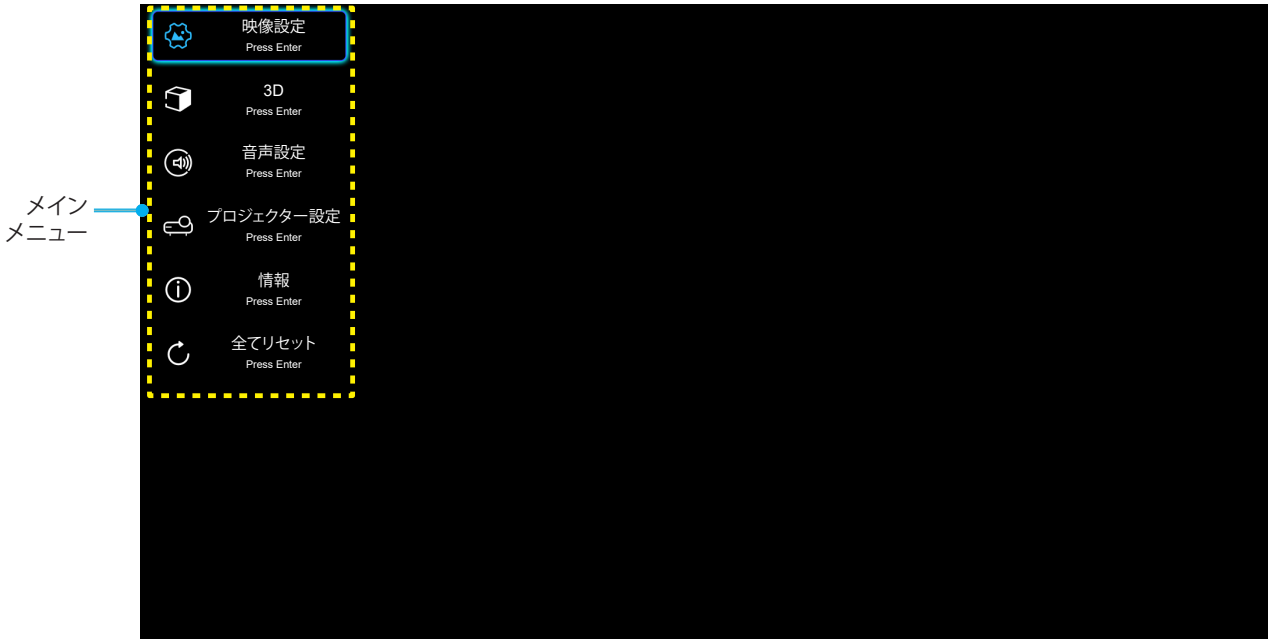
プロジェクター設定を選択して、デバイス設定の構成、システム情報の表示、システム設定の復元を含む様々なデバイス構成を管理します。



一般的なメニューのナビゲーション

1. リモコンの**入力**またはプロジェクターのキーパッドの ↵ を押して、**プロジェクター設定**メニューに入ります。

   注記: *また、**プロジェクター設定**メニューにリモコンの ≡ またはプロジェクターのキーパッドの ▤ を押して、直接アクセスできます。*



2. OSD が表示されたら、▲▼ キーを使ってメインメニューの任意の項目を選択します。特定のページを選択し、リモコンの**入力**またはプロジェクターのキーパッドの ↵ を押して、サブメニューに進みます。

プロジェクターを使用する

3. ▲▼ キーを使って、サブメニューで希望のアイテムを選択し、**入力** または↵ を押して、詳細設定を表示します。◀▶ キーを使って設定を調整します。
4. サブ メニューから次に調整したい項目を選択し、上記手順と同様に設定を調整します。
5. 入力または ↵ を押すと設定が確定し、画面はメインメニューに戻ります。
6. 終了するには、もう一度 ≡ または ▤ を押します。オンスクリーンメニューが終了し、プロジェクターは自動的に新しい設定を保存します。

OSD メニューツリー

レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4	値
映像設定	ディスプレーモード			シネマ
				HDR
				HLG
				HDR SIM.
				ゲーム
				リファレンス
				ブライト
				ユーザー
				3D
				ISF Day
				ISF Night
	ダイナミック範囲	HDR/HLG		自動 [デフォルト]
				オフ
		HDR ピクチャモード		ブライト
				標準 [デフォルト]
				フィルム
				詳細
		HLG 画像モード		ブライト
				標準 [デフォルト]
				フィルム
				詳細
	輝度			-50 ~ +50
	コントラスト			-50 ~ +50
	シャープネス			1 ~ 15
	色			-50 ~ +50
	色あい			-50 ~ +50
	ガンマ [非 3D モード]			フィルム
				ビデオ
				グラフィック
				標準 (2.2)
				1.8
				2.0
				2.4
	ガンマ [3D モード]			3D

レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4	値
映像設定	色設定	BrilliantColor™		1 ~ 10
		色温度		D55
				D65
				D75
				D83
				D93
				ネイティブ
		色域		ネイティブ
				HDTV
				プレゼンテーション
				シネマ
				ゲーム
		カラースペース [非 HDMI 入力]		自動 [デフォルト]
				RGB
				YUV
		カラースペース [HDMI 入力]		自動 [デフォルト]
				RGB (0-255)
				RGB (16-235)
				YUV
		カラーマッチング	色	赤 [デフォルト]
				緑
				青
				シアン
				黄
				マゼンタ
				白
			色あいまたは赤ゲイン	-50 ～ +50 [デフォルト: 0]
			彩度または緑ゲイン	-50 ～ +50 [デフォルト: 0]
			ゲインまたは青ゲイン	-50 ～ +50 [デフォルト: 0]
		RGB ゲイン/バイアス	赤ゲイン	-50 ～ +50 [デフォルト: 0]
			緑ゲイン	-50 ～ +50 [デフォルト: 0]
			青ゲイン	-50 ～ +50 [デフォルト: 0]
			赤バイアス	-50 ～ +50 [デフォルト: 0]
			緑バイアス	-50 ～ +50 [デフォルト: 0]
			青バイアス	-50 ～ +50 [デフォルト: 0]
	信号	周波数		-50 ～ +50 (信号に依存)
		位相		0 ～ 31 (信号に依存)
		水平位置		-50 ～ +50 (信号に依存)
		垂直位置		-50 ～ +50 (信号に依存)
	ダイナミックブラック			オン [デフォルト]
				オフ
	ブライトネスモード			エコ
				ブライト
	デジタルズーム			-5 ～ 25 [デフォルト: 0]

プロジェクターを使用する

レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4	値
映像設定	アスペクト比			4:3
				16:9
				ネイティブ
				自動 [デフォルト]
	ピュアモーション			オフ
				低
				中
				高
	リセット			
3D	3D モード			オン
				オフ [デフォルト]
	3D 映像フォーマット			自動 [デフォルト]
				サイド バイ サイド
				トップ アンド ボトム
				フレームパッキング
	3D 同期 反転			オン
				オフ [デフォルト]
音声設定	内蔵スピーカー			オン [デフォルト]
				オフ
	オーディオ出力			オン
				オフ [デフォルト]
	ミュート			オン
				オフ [デフォルト]
	音量			0 ～ 10 [デフォルト: 5]
プロジェクター設定	ランプ設定	ランプ使用時間		読み取り専用 [範囲 0 ～ 9999]
		ランプリセット		はい
				いいえ [デフォルト]
		ランプ警告		オン [デフォルト]
				オフ
	フィルター設定	エアフィルター使用時間		読み取り専用 [範囲 0 ～ 9999]
		エアフィルター寿命		オフ [デフォルト]
				300 時間
				500 時間
				800 時間
				1000 時間
		エアフィルター使用時間リセット		はい
				いいえ [デフォルト]

プロジェクターを使用する

レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4	値
プロジェクター設定	電源設定	電源検知オートパワーオン		オン
				オフ [デフォルト]
		自動パワーオフ		オン [デフォルト]
				オフ
		スリープタイマー (分)		オフ(0) ～ 990 (30 分の増分) [デフォルト: オフ]
		電源モード (スタンバイ)		エコ [デフォルト]
				アクティブ
				Full Power Active
	その他	プロジェクター ID		0 ～ 99 [デフォルト: 0]
		テストパターン		なし [デフォルト]
				グリッド (緑)
				グリッド (マゼンタ)
				グリッド (白)
				白
		投射モード		フロント [デフォルト]
				リア
				フロント-天吊り
				リア-天吊り
		HDMI EDID		2.0 [デフォルト]
				1.4
		HDMI/VGA/USB ディスク		通知
				ソース自動変更 [デフォルト]
				なし
		高地モード		オン
				オフ [デフォルト]
		12V トリガ		オン
				オフ [デフォルト]

プロジェクターを使用する

レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4	値
情報	制御			
	シリアル番号			
	ソース			HDMI1 / HDMI2 / VGA / コンポーネント / メディア
	解像度			
	ディスプレーモード			なし / シネマ / HDR/ HDR SIM. / ゲーム / リファレンス / ブライト / ユーザー / 3D / ISF Day / ISF Night
	ブライトネスモード			
	電源モード (スタンバイ)			エコ / アクティブ / Full Power Active
	ランプ使用時間	ブライト		[0 時間] 〜 [99999 時間]
		エコ		[0 時間] 〜 [99999 時間]
		ダイナミック		[0 時間] 〜 [99999 時間]
		合計		[0 時間] 〜 [299997 時間]
	エアフィルター使用時間			[0 時間] 〜 [99999 時間]
	プロジェクター ID			0 ~ 99
	色深度			
	カラーフォーマット			
	FW バージョン	システム		
		LAN		
		MCU		
全てリセット				

プロジェクターを使用する

映像設定メニュー

ディスプレーモード

さまざまな映像タイプに合わせて、いくつかのプリセット設定が用意されています。

- **シネマ**: 映画を見るために最適な色を提供します。
- **HDR**: ハイダイナミックレンジ (HDR) コンテンツを復号し、表示し、REC.2020 色範囲で濃い黒、明るい白、映画のように鮮やかな色を再現します。このモードは、HDR が ON に設定されている場合、自動的に有効になります (HDR コンテンツがプロジェクターに送信されます – 4K UHD Blu-ray、1080p/4K UHD HDR ゲーム、4K UHD ストリーミングビデオ)。HDR モードが有効なとき、他の表示モード (映画や参照など) は選択できません。HDR は、他の表示モードの色パフォーマンスを超える、非常に精密な色を再現するからです。
- **HLG**：Hybrid Log コンテンツを含む HDR シアターの場合。
- **HDR SIM.**: ハイダイナミックレンジ (HDR) をシミュレートし、非 HDR コンテンツの画質を上げます。このモードを選択すると、非 HDR コンテンツ (720p および 1080p ブロードキャスト/ケーブル TV、1080p Blu-ray、非 HDR ゲームなど) のガンマ、コントラスト、彩度が高まります。このモードは HDR 以外のコンテンツでのみ利用できます。
- **ゲーム**: ビデオゲームを楽しむために、このモードを選択して、明るさを増やし、応答時間レベルを上げます。
- **リファレンス**: このモードは、映画監督が意図したように、画像をできるだけアップにして再生することを目的としています。カラー、色温度、輝度、コントラスト、γ設定はすべて標準の参照レベルに設定されます。動画を見るにはこのモードを選択します。
- **ブライト**: PC 入力に対する最大輝度。
- **ユーザー**: ユーザー設定を保存します。
- **3D**: 3D 効果を体験するには、3D 眼鏡を用意する必要があります。Blu-ray 3D DVD プレーヤーがインストールされていることを確認します。
- **ISF Day**: 画像を完ぺきに較正できるように ISF Day モードで、また高いピクチャー品質で最適化します。
- **ISF Night**: 画像を完ぺきに較正できるように ISF Night モードで、また高いピクチャー品質で最適化します。

注記: *ISF 日中/夜間表示モードの調整方法については、お近くの販売店にお問い合わせください。*

ダイナミック範囲

4K Blu-ray プレーヤーおよびストリーミングデバイスからビデオを表示するとき、高ダイナミック範囲 (HDR) 設定およびその効果を構成します。

➤ **HDR/HLG**

- **自動**: HDR 信号を自動検出します。
- **オフ**: HDR/HLG 処理をオフに切り替えます。オフに設定すると、プロジェクターは HDR/HLG コンテンツを復号しません。

➤ **HDR ピクチャモード**

- **ブライト**: このモードを選択すると、より飽和した色が再現されます。
- **標準**: このモードを選択すると、色調の暖かさと冷たさのバランスが取れた、自然な色を再現します。
- **フィルム**: このモードを選択すると、細部が改善され、画像が鮮明になります。
- **詳細**: このモードを選択すると、暗いシーンで細部が改善され、画像が鮮明になります。

➤ **HLG 画像モード**

- **ブライト:** このモードを選択すると、より飽和した色が再現されます。
- **標準:** このモードを選択すると、色調の暖かさと冷たさのバランスが取れた、自然な色を再現します。

- **フィルム:** このモードを選択すると、細部が改善され、画像が鮮明になります。
- **詳細:** 最高のカラーマッチングを実現するために、信号は OETF 変換から提供されます。

輝度

画像の輝度を調整します。

コントラスト

コントラストは、画像や画像の最暗部 (黒) と最明部 (白) の差の度合いを調整します。

シャープネス

画像のシャープネスを調整します。

色

ビデオ画像を、白黒から完全飽和色まで調整します。

色あい

赤と緑のカラーバランスを調整します。

ガンマ

γカーブタイプを設定します。初期セットアップと微調整が完了したら、γ調整ステップを利用して画像出力を最適化します。

- **フィルム**: ホーム シアター用。
- **ビデオ**: ビデオまたは TV ソース用。
- **グラフィック**: PC/フォトソース用。
- **標準 (2.2)**: 標準化された設定用。
- **1.8 / 2.0 / 2.4**: 特定の PC/フォトソース用。

注記: *これらのオプションは、3D モード機能が無効の場合にのみ使用できます。3D モードでは、ガンマ設定に対して、**3D** のみを選択できます。*

色設定

色設定を行います。

- **BrilliantColor™**: 新しいカラー処理アルゴリズムとエンハンスメントを利用して高い輝度を可能にしながら、画像に真の鮮やかなカラーを実現します。
- **色温度**: D50、D65、D75、D83、D93、または、ネイティブから色温度を選択します。
- **色域**: ネイティブ、HDTV、プレゼンテーション、シネマ、または、ゲームから適切な色域を選択します。
- **カラースペース (非 HDMI 入力のみ)**: カラースペースは、(1) VGA (RGB) (2) コンポーネント(YUV) (3) メディア(自動) の入力ソースで固定されています。
- **カラースペース (HDMI 入力のみ)**: 以下から適切なカラーマトリックスタイプを選択します: 自動、RGB (0-255)、RGB (16-235)、YUV (0-255) および YUV (16-235)。
- **カラーマッチング**: 赤、緑、青、シアン、黄、マゼンダ、または白色の色あい、彩度およびゲインを調整します。
- **RGB ゲイン/バイアス**: この設定でイメージの輝度 (ゲイン) とコントラスト (バイアス) を構成できます。

信号

信号オプションを調整します。

- **周波数**: ディスプレーデータ周波数を変更して、コンピュータのグラフィックカード周波数に適合させます。画像が垂直方向でちらついて見える場合のみ、この機能をお使いください。
- **位相**: ディスプレーの信号タイミングとグラフィックカードを同期化します。画像が乱れたりちらついたりす

プロジェクターを使用する

る場合は、この機能を使って修正します。

- **水平位置**: 画像の水平位置を調整します。
- **垂直位置**: 画像の垂直位置を調整します。

注記: *このメニューは、入力ソースが、RGB である場合のみ利用可能です。*

ダイナミックブラック

最適なコントラストパフォーマンスを発揮できるよう、画像の輝度を自動的に調整するために使用します。

ブライトネスモード

ブライトネスモードの設定を調整します。

- **エコ**: [エコ] を選択するとプロジェクターランプの光量を減らして電源消費量を少なくし、寿命を延長することができます。
- **ブライト**: [ブライト] を選択すると明るさが増します。

デジタルズーム

スクリーンに投影される画像を縮小または拡大するために使用します。

アスペクト比

表示される画像のアスペクト比を選択します。

- **4:3**: このフォーマットは、4:3 入力ソース用です。
- **16:9**: ワイド スクリーン テレビのために用意される高画質の HDTV や DVD のような 16:9 入力用です。
- **ネイティブ**: このフォーマットは、スケーリングなしでオリジナルの画像を表示します。
- **自動**: 適切なディスプレイフォーマットを自動的に選択します。

4K UHD スケーリングテーブル:

16:9 画面	480i/p	576i/p	720p	1080i/p	2160p
4x3	2880 x 2160 に調整します。				
16x9	3840 x 2160 に調整します。				
ネイティブ	1:1 中央にマッピング。 サイズ変更は行われません。表示される解像度は、入力ソースに依存します。				
自動	- ソースが 4:3 である場合、画面タイプは自動的に 2880 x 2160 にサイズ変更されます。 - ソースが 16:9 である場合、画面タイプは自動的に 3840 x 2160 にサイズ変更されます。 - ソースが 16:10 である場合、画面タイプは自動的に 3456 x 2160 にサイズ変更されます。				

自動マッピングルール:

	入力解像度		自動/拡大縮小	
	水平解像度	垂直解像度	3840	2160
4:3	640	480	2880	2160
	800	600	2880	2160
	1024	768	2880	2160
	1280	1024	2880	2160
	1400	1050	2880	2160
	1600	1200	2880	2160
ワイド ラップトップ	1280	720	3840	2160
	1280	768	3600	2160
	1280	800	3456	2160
SDTV	720	576	2700	2160
	720	480	3240	2160
HDTV	1280	720	3840	2160
	1920	1080	3840	2160

ピュアモーション

表示される画像の自然な動きを保持するために使用します。

リセット

色設定を工場出荷時デフォルト設定に戻します。

3D メニュー

注記: *最大解像度は 1080P です (4K 解像度はサポートされません)。*

3D モード

このオプションを使って、3D モード機能を有効/無効にします。

3D 映像フォーマット

このオプションを使って、適切な 3D フォーマットのコンテンツを選択します。

- **自動**: 3D 識別信号を検出すると、3D 映像フォーマットが自動的に選択されます。
- **サイド バイ サイド**: [サイドバイサイド] フォーマットで 3D 信号を表示します。
- **トップ アンド ボトム**: 3D 信号を「トップ アンド ボトム」フォーマットで表示します。
- **フレームパッキング**: 3D 信号を「フレームパッキング」フォーマットで表示します。

3D 同期 反転

このオプションを使って、3D 同期反転機能を有効/無効にします。

音声設定メニュー

内蔵スピーカー

内蔵スピーカーの [オン] または [オフ] を切り替えるには、[オン] または [オフ] を選択します。

プロジェクターを使用する

オーディオ出力

オーディオ出力の [オン] または [オフ] を切り替えるには、[オン] または [オフ] を選択します。

ミュート

このオプションを使って、一時的に音声をオフに切り替えます。

- **オン**: [オン] を選択すると消音が有効になります。
- **オフ**: 「オフ」を選択すると消音が無効になります。

注記: *「ミュート」機能は、内蔵および外付けスピーカーの音量に影響を与えます。*

音量

オーディオ音量レベルを調整します。

プロジェクター設定メニュー

ランプ設定

- **ランプ使用時間**: 投射時間を表示します。
- **ランプリセット**: ランプ交換後、ランプの寿命カウンタをリセットする際に使用します。
- **ランプ警告**: ランプ交換メッセージが表示されたときに、警告メッセージの表示/非表示を設定します。メッセージは、推奨されるランプの交換の約 200 時間前から表示されます。

フィルター設定

- **エアフィルター使用時間**: エアフィルター使用時間を表示します。
- **エアフィルター寿命**: フィルター交換メッセージが表示されたときに、警告メッセージの表示/非表示を設定します。利用可能なオプションは、300 時間、500 時間、800 時間、および 1000 時間 です。
- **エアフィルター使用時間リセット**: ダストフィルターを交換または洗浄した後、ダストフィルターカウンタをリセットしてください。

電源設定

- **電源検知オートパワーオン**: [オン] を選択すると、電源探知オートパワーオンモードが有効になります。プロジェクターは、AC 電源が供給されると自動的に電源オンになります。プロジェクターのキーパッドまたはリモコンの [電源] キーを押す必要はありません。
- **自動パワーオフ**: [オン] を選択すると、信号電源モードが有効になります。信号が検出されない場合またはプロジェクターが 20 分間アイドル状態にある場合、プロジェクターの電源が自動的に切れます。
- **スリープタイマー (分)**: カウントダウンタイマーの時間を設定します。カウントダウンタイマーは、プロジェクターへの入力信号の有無に関わらず、カウントダウンを開始します。カウントダウンが終了すると、自動的にプロジェクターの電源が切れます (単位は分です)。
- **電源モード (スタンバイ)**: 電源モードを設定します。
  - **エコ**: [エコ] を選択すると、節電モードになります (< 0.5W)。
  - **アクティブ**: [アクティブ] を選択して、ノーマルスタンバイ (LAN オン、Wi-Fi オフ) に戻ります。
  - **Full Power Active**: [Full Power Active] を選択して、ノーマルスタンバイ (LAN オン、Wi-Fi オン) に戻ります。

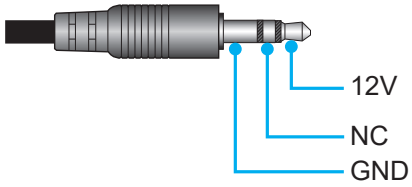
その他

- **プロジェクター ID**: ID 定義をメニュー (0～99まで) で設定できます。ユーザーは RS232 コマンドを使って、個別のプロジェクターをコントロールできるようになります。

プロジェクターを使用する

- **テストパターン**: テストパターンをグリッド、グリッド (緑)、グリッド (マゼンタ)、グリッド (白)、白から選択するか、または、この機能を無効にします (なし)。
- **投射モード**: お好みの投射をフロント、リア、フロント-天吊り、およびリア-天吊りの間から選択します。
- **HDMI EDID**: HDMI EDID タイプを 2.0 または 1.4 から選択します。

  注記: *異常な色の問題が発生した場合は、EDID 設定を調整してください。*
- **HDMI/VGA/USB ディスク**: 入力ソース (HDMI/VGA/USB フラッシュドライブ) の 1 つがプロジェクターに接続されているとき、システムがどのように反応するかを定義します。
  - **通知**: [通知] を選択して、入力ソースが検出されたときに入力切り替え確認メッセージを表示します。
  - **ソース自動変更**: [ソース自動変更] を選択して、現在検出されている入力ソースに自動的に切り替えます。
  - **なし**: [なし] を選択して、手動で入力ソースを切り替えます。
- **高地モード**: [オン] が選択されると、ファンがより高速に回転します。この機能は、高度が高く、空気の濃度が低い環境に便利です。
- **12V トリガ**: この機能を使って、トリガを有効または無効にします。



  - **オン**: 「オン」を選択するとトリガが有効になります。
  - **オフ**: [オフ] を選択するとトリガが無効になります。

情報メニュー

以下のプロジェクター情報を表示します:

- 制御
- シリアル番号
- ソース
- 解像度
- ディスプレーモード
- ブライトネスモード
- 電源モード (スタンバイ)
- ランプ使用時間
- エアフィルター使用時間
- プロジェクター ID
- 色深度
- カラーフォーマット
- FW バージョン

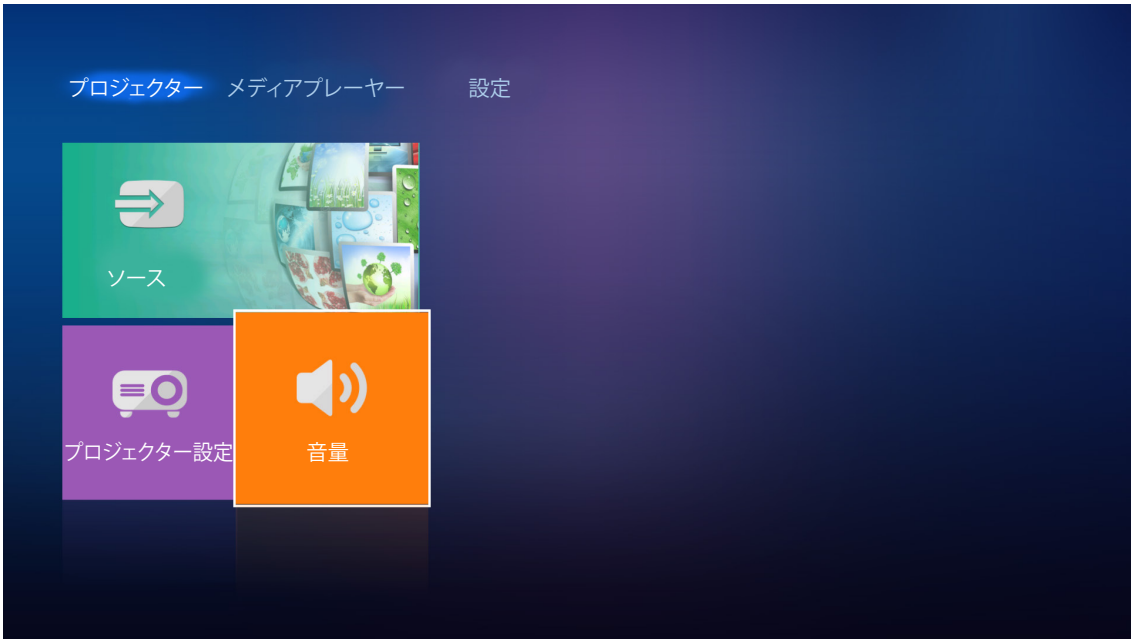
全メニューのリセット

すべての設定を工場出荷時の初期設定に戻します。

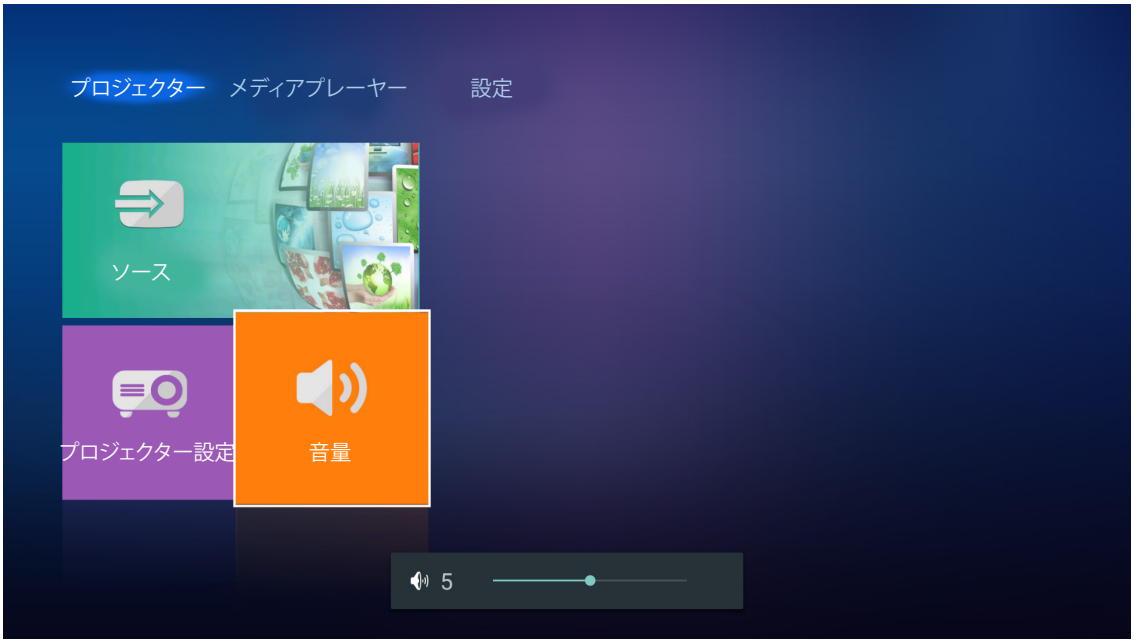
プロジェクターを使用する

音量レベルの調整

音量を選択して、オーディオ音量レベルを調整します。次にリモコンの**入力**またはプロジェクターのキーパッドの ↵ を押して、**音量**メニューに入ります。



◀▶キーを使用して、希望の音量レベルを調整します。



注記: *ミュート機能を有効にするには、音量レベルを 0 に設定します。*

プロジェクターを使用する

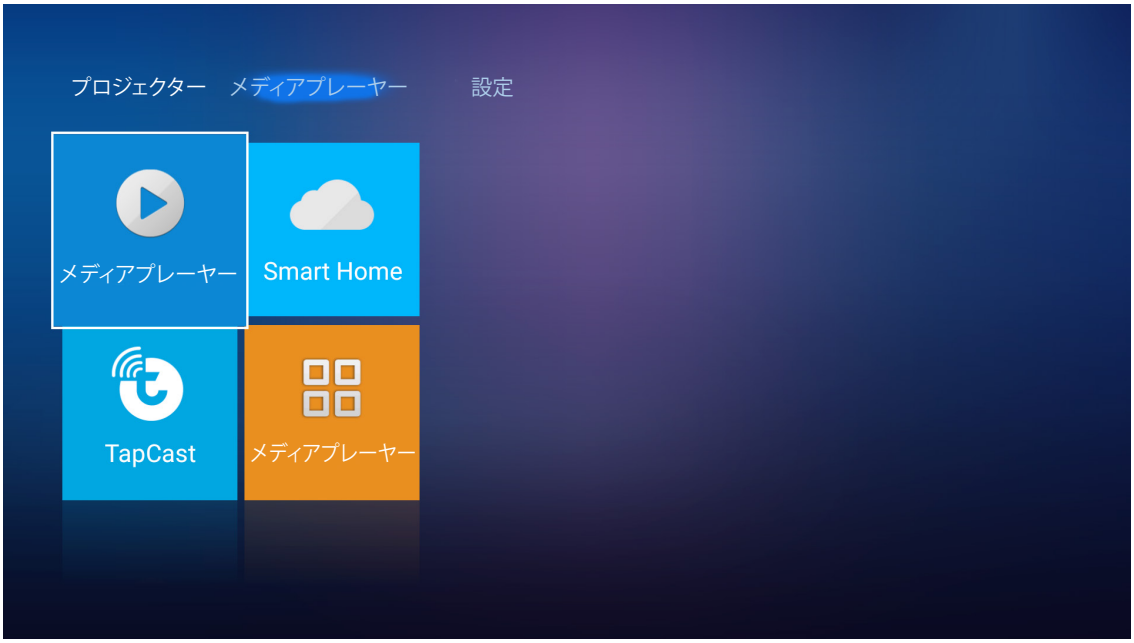
アプリケーション設定

メディアプレーヤーホーム画面で、マルチメディアファイルを表示したり、プロジェクターを Device Cloud に登録したり、ワイヤレスでメディアファイルをストリーミングしたりすることができます。**メディアプレーヤー**ホーム画面に切り替えるには、メインカテゴリの 1 つを選択し、◀▶ キーを使用して、**メディアプレーヤー**を選択します。

マルチメディアファイルを再生する

プロジェクターに接続した後、**メディアプレーヤー**を選択して、USB フラッシュドライブに保存されたマルチメディアファイルを参照します。

注記: *USB フォーマットは、FAT および FAT32 上でのみサポートされます。*



マルチメディアサポートフォーマット

フォト

イメージタイプ (Ext 名)	サブタイプ	最大ピクセル
Jpeg / Jpg	ベースライン	8000 x 8000
	プログレッシブ	6000 x 4000
PNG	ノンインターレース	6000 x 4000
	インターレース	6000 x 4000
BMP		6000 x 4000

オーディオ

音楽タイプ (Ext 名)	サンプルレート (KHz)	ビットレート (Kbps)
MP3	16~48	8~320
WMA	8~48	128~320
ADPCM-WAV	8~48	32~384
PCM-WAV	8~48	64~1536
AAC	8~48	8~48

プロジェクターを使用する

ビデオ

ファイルフォーマット	ビデオフォーマット	デコード最大解像度	最大ビットレート (bps)	プロファイル
MPG、MPEG	MPEG1/2	1920 x 1080 60fps	40M bps	MP@HP
MOV、MP4、MKV	H.264	4096 x 2176 30fps	135M bps	MP/HP @ レベル 5.1
AVI、MOV、MP4	MPEG4	1920 x 1080 60fps	40M bps	SP/ASP @ レベル 5.1
AVI、MP4、MOV、MKV	MJPEG	1920 x 1080 30fps	10M bps	ベースライン
WMV、ASF	VC-1	1920 x 1080 60fps	40M bps	SP/MP/AP
3GP、MP4、AVI、MOV	H.263	1920 x 1080 60fps	40M bps	
MP4、MOV、MKV	HEVC/H.265	4096 x 2176 60fps	100M bps	メイン/メイン 10 プロファイル、ハイティア @ レベル 5.1
MKV	VP8	1920 x 1080 60fps	20M bps	
	VP9	4096 x 2176 60fps	100M bps	プロファイル 0、2
MP4、MOV、TS、TRP、TP	AVS	1920 x 1080 60fps	40M bps	Jizhun プロファイル @ レベル 6.0

文書

文書フォーマット	サポートバージョンおよびフォーマット	ページ/行制限	サイズ制限
PDF	PDF 1.0 ～ 1.7 およびそれ以降	最大 1500 ページ (1 つのファイル)	最大 100MB
Word	Kingsoft Writer 文書 (*.wps)	WPS Projector は、一度に MS/Word ファイルを読み込まないので、ファイルのページ数と行数に明らかな制限はありません。	最大 150MB
	Kingsoft Writer テンプレート (*.wpt)		
	Microsoft Word 97/2000/XP/2003 文書 (*.doc)		
	Microsoft Word 97/2000/XP/2003 テンプレート (*.dot)		
	RTF ファイル (*.rtf)		
	テキストファイル (*.txt, *.log, *.lrc, *.c, *.cpp, *.h, *.asm, *.s, *.java, *.asp, *.prg, *.bat, *.bas, *.cmd)		
	Web ページファイル (*.html, *.htm)		
	シングル Web ページファイル (*.mht, *.mhtml)		
	Microsoft Word 2007/2010 文書 (*.docx)		
	Microsoft Word 2007/2010 テンプレート (*.dotx)		
	Microsoft Word 2007/2010 マクロ有効文書 (*.docm)		
	Microsoft Word 2007/2010 マクロ有効テンプレート (*.dotm)		
	XML ファイル (*.xml)		
	OpenDocument テキスト (*.odt)		
	Works 6-9 文書 (*.wtf)		
	Works 6.0&7.0 (*.wps)		

プロジェクターを使用する

文書フォーマット	サポートバージョンおよびフォーマット	ページ/行制限	サイズ制限
Excel	Kingsoft スプレッドシートファイル (*.et)	行制限: 最大 65,535 列制限: 最大 256 シート: 最大 200	最大 30MB
	Kingsoft スプレッドシートテンプレート (*.ett)		
	Microsoft Excel 97/2000/XP/2003 ワークブック (*.xls)		
	Microsoft Excel 97/2000/XP/2003 テンプレート (*.xlt)		
	テキストファイル (*.csv)		
	Web ページ (*.htm, *.html)		
	XML ファイル (*.xml)		
	Microsoft Excel 2007/2010 ファイル (*.xlsx, *.xlsm)		
	Microsoft Excel 2007/2010 テンプレート (*.xltx)		
	Microsoft Excel 2007/2010 バイナリワークブック (*.xlsb)		
PowerPoint	Kingsoft プレゼンテーションファイル (*.dps)	最大 1500 ページ (1 つのファイル)	最大 30MB
	Kingsoft プレゼンテーションテンプレート (*.dpt)		
	Microsoft PowerPoint 97/2000/XP/2003 プレゼンテーション (*.ppt, *.pps)		
	Microsoft PowerPoint 97/2000/XP/2003 プレゼンテーションテンプレート (*.pot)		
	Microsoft PowerPoint 2007/2010 プレゼンテーション (*.pptx, *.ppsx)		
	Microsoft PowerPoint 2007/2010 プレゼンテーションテンプレート (*.potx)		

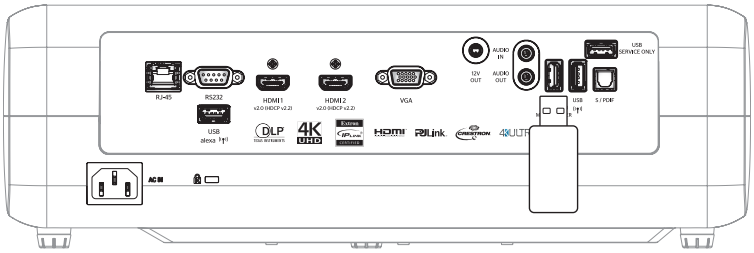
注記:

- *複雑な内容の大きなファイルの場合は、デコードに時間がかかることがあります。*
- *ファイルに埋め込まれたオブジェクトをアクティブ化または表示することはできません。*
- *Microsoft Word の場合*
  - *描画プラグインまたは表の背景設定などの高度な設定はサポートされていません。*
  - *Microsoft Wordの定義された枠外の内容は表示されません。*
  - *簡体字中国語フォントでの太字テキストをサポートしていません。*
- *Microsoft PowerPoint の場合*
  - *スライド効果はサポートされていません。*
  - *パスワードで保護されたシートは保護されません。*
- *Microsoft Excel の場合*
  - *ワークブックに複数のワークシートがある場合、ワークシートは個別かつ順番に表示されます。*
  - *ページのレイアウトと番号は、デコード中に変更されることがあります。*

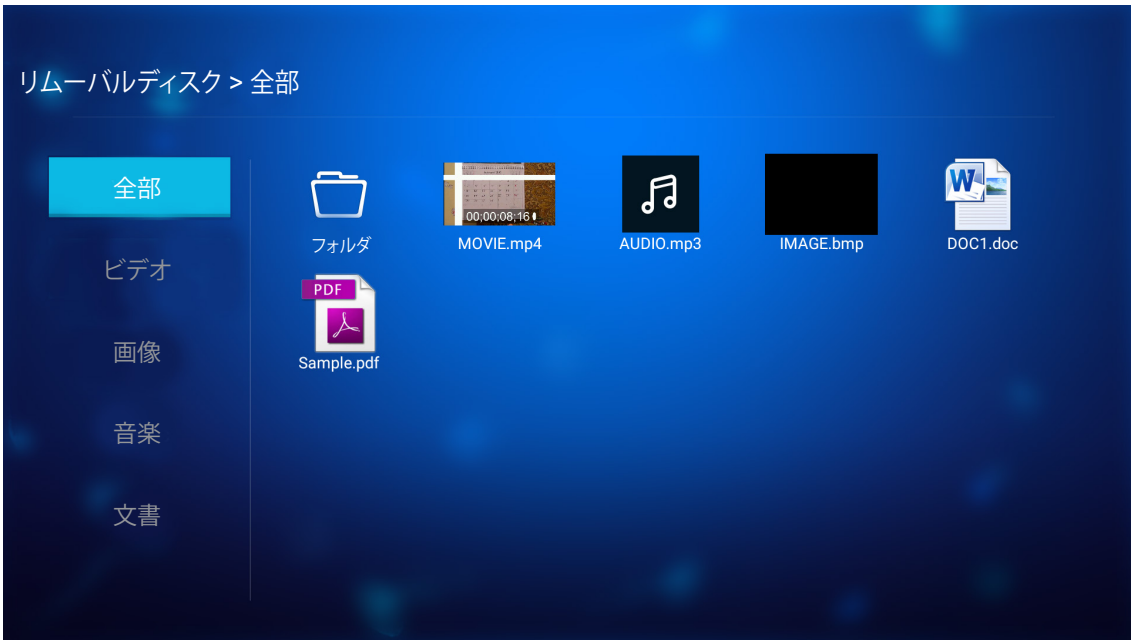
プロジェクターを使用する

マルチメディアモードに入る

1. プロジェクターの背面にある USB コネクターに USB フラッシュドライブを挿入します。



利用可能なファイルが画面に表示されます。



注記: *手動でマルチメディアモードに入るには、**メディアプレーヤー > メディアプレーヤー**を選択します。*

2. ファイルを参照し、表示するファイルを選択します。

プロジェクターを使用する

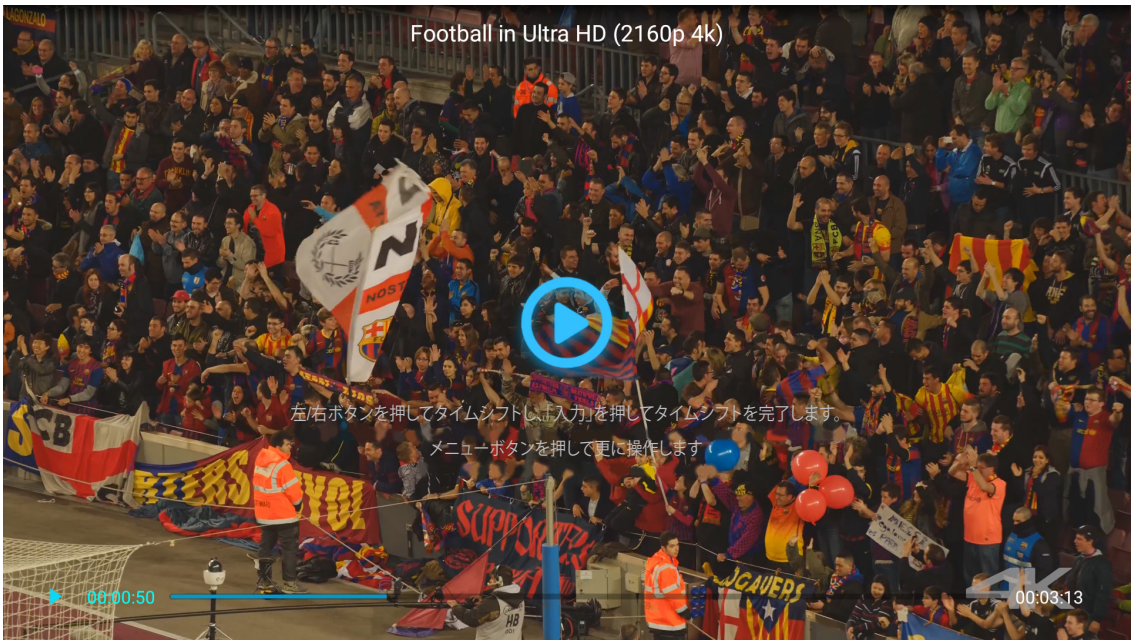
ビデオを再生する

1. 左パネルで、**ビデオ**を選択して、全ビデオファイルを参照します。



複数のフォルダがある場合は、▲▼◀▶ キーを押して、希望のフォルダを選択し、次に、**入力**/↵ を押して、サブフォルダの内容を表示します。

2. ▲▼◀▶ キーを押して、再生するビデオを選択し、次に、**入力**/↵ を押して、再生を開始します。



- **入力**/↵ を押して、再生を一時停止します。ビデオを一時停止している間:
  - ◀▶ キーを押して、ビデオを巻き戻しまたは早送りします。
  - 再開するには、**入力**/↵ を押します。
- 再生を停止するには、いつでも、⮌ を押します。

プロジェクターを使用する

フォトを表示する

1. 左パネルで、**画像**を選択して、全画像ファイルを参照します。



複数のフォルダがある場合は、▲▼◀▶ キーを押して、希望のフォルダを選択し、次に、**入力/↵** を押して、サブフォルダの内容を表示します。

2. ▲▼◀▶ キーを押して、フォトを選択し、次に、**入力/↵** を押して、フォトを全画面表示します。

フォトオプション

フォトを全画面表示している間:

- ◀▶ キーを使用して、前または次のフォトを表示します。
- **入力/↵** を押して、クイックメニューにアクセスします。



– **PPT 再生モード**を選択して、スライドショー設定を構成します。

– **写真を回転**を選択して、フォトを時計回りに 90 度回転します。

プロジェクターを使用する

– **写真を拡大**を選択して、フォトの表示を拡大します。
– **前へ**を選択して、前のフォトを表示します。
– **次へ**を選択して、次のフォトを表示します。

スライドショー設定



サイクルモード
スライドショーモードのオプションを設定します。

サイクル効果
各スライド表示の間のトランジッション効果を選択します。

時間間隔
各スライド表示の間の時間間隔を設定します。

PPT 再生間隔
選択して、スライドショーを開始します。

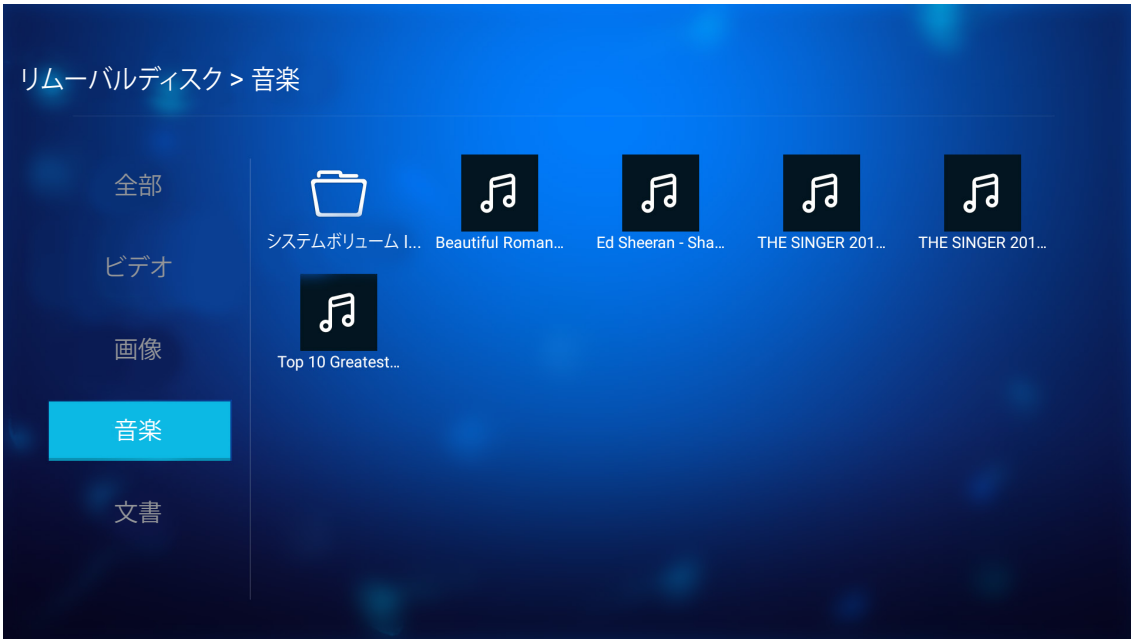
注記:

- スライドショーを一時停止するには、入力/↵ を押します。
- スライドショーを停止するには、⮌ を押します。

プロジェクターを使用する

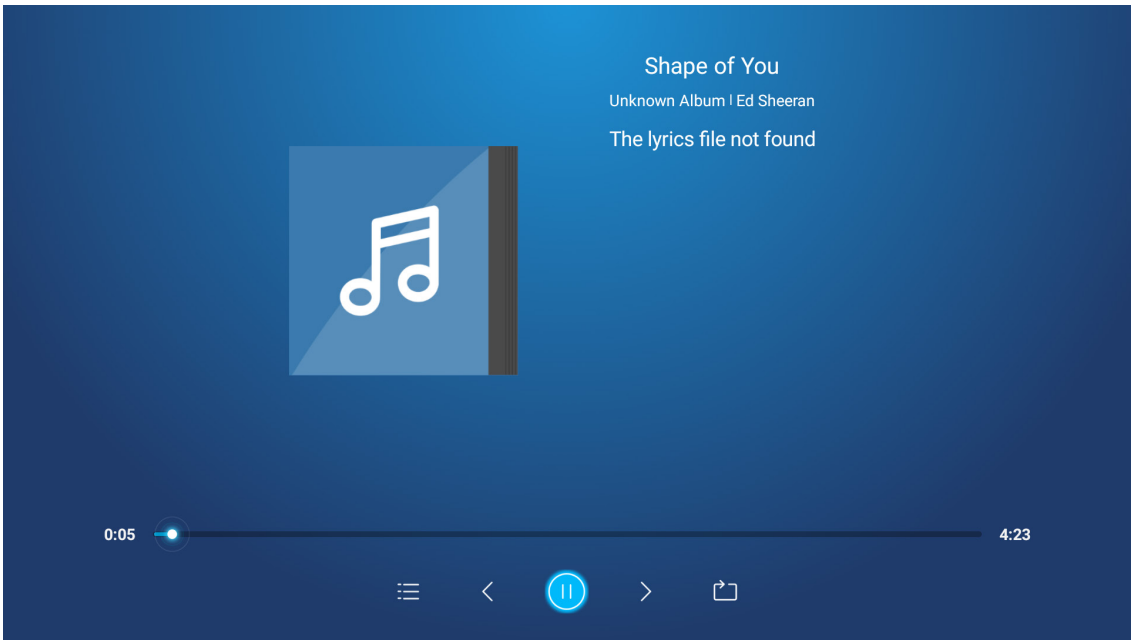
音楽を再生する

1. 左パネルで、**音楽**を選択して、全て曲またはオーディオファイルを参照します。



複数のフォルダがある場合は、▲▼◀▶ キーを押して、希望のフォルダを選択し、次に、**入力**/↵ を押して、サブフォルダの内容を表示します。

2. ▲▼◀▶ キーを押して、再生する曲を選択し、次に、**入力**/↵ を押して、再生を開始します。



- 再生を一時停止するには、⏸ を選択し、**入力**/↵ を押します。再開するには、⏯ を選択し、**入力**/↵ を押します。
- 前/次のトラックにスキップするには、</> を選択して、**入力**/↵ を押します。
- 再生モードを切り替えるには、🔁 を選択して、**入力**/↵ を繰り返し押して、希望のモードを選択します。
- 再生リストを表示するには、☰ を選択して、**入力**/↵ を押します。
- 再生を停止するには、いつでも、⮌ を押します。

プロジェクターを使用する

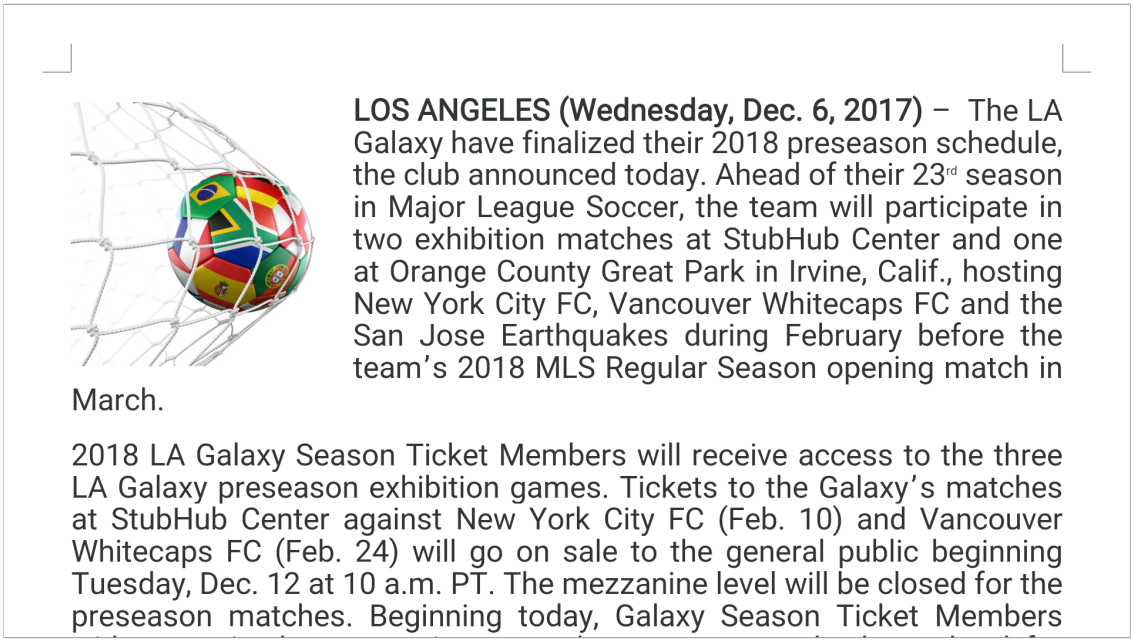
文書を表示する

1. 左パネルで、**文書**を選択して、全文書ファイルを参照します。



複数のフォルダがある場合は、▲▼◀▶ キーを押して、希望のフォルダを選択し、次に、**入力**/↵ を押して、サブフォルダの内容を表示します。

2. ▲▼◀▶ キーを押して、表示する文書を選択し、次に、**入力**/↵ を押して、ファイルを開きます。



LOS ANGELES (Wednesday, Dec. 6, 2017) – The LA Galaxy have finalized their 2018 preseason schedule, the club announced today. Ahead of their 23rd season in Major League Soccer, the team will participate in two exhibition matches at StubHub Center and one at Orange County Great Park in Irvine, Calif., hosting New York City FC, Vancouver Whitecaps FC and the San Jose Earthquakes during February before the team's 2018 MLS Regular Season opening match in March.

2018 LA Galaxy Season Ticket Members will receive access to the three LA Galaxy preseason exhibition games. Tickets to the Galaxy's matches at StubHub Center against New York City FC (Feb. 10) and Vancouver Whitecaps FC (Feb. 24) will go on sale to the general public beginning Tuesday, Dec. 12 at 10 a.m. PT. The mezzanine level will be closed for the preseason matches. Beginning today, Galaxy Season Ticket Members

- ▲▼◀▶ キーを押して、ページを上/下にスクロールする、または、ページをナビゲートします。
- 文書を閉じるには、いつでも、⮌ を押します。

プロジェクターを使用する

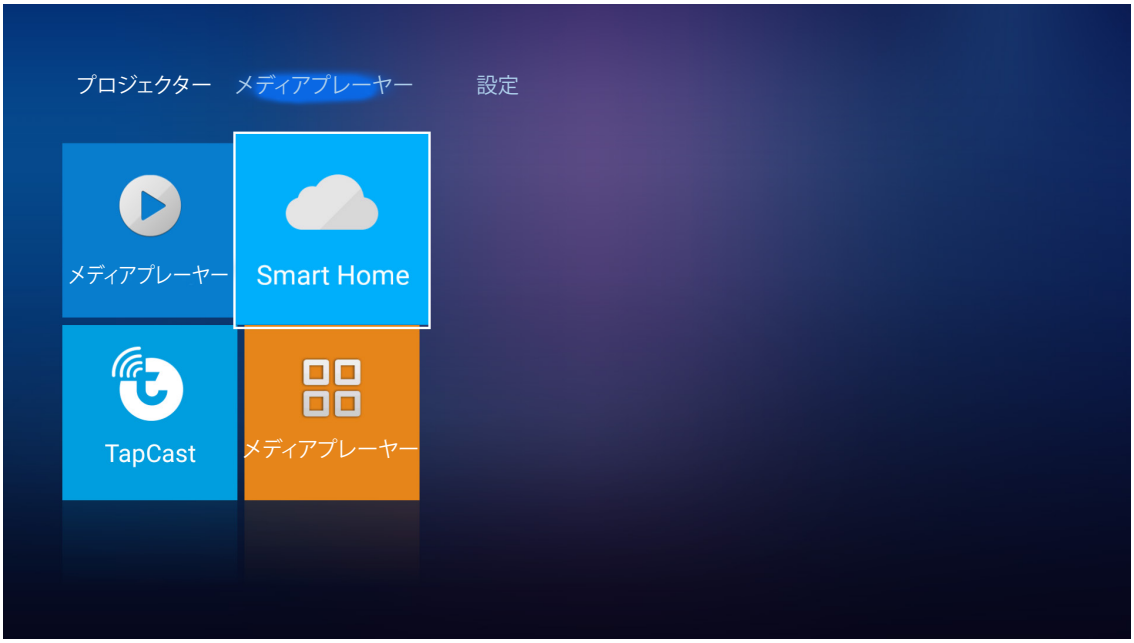
注記: *Powerpoint ファイルを開いているときは、[再生モード] メニューが、画面に表示されます。次に、希望の再生モードを選択して、***はい** *を選択し、ファイルの閲覧を開始します。*



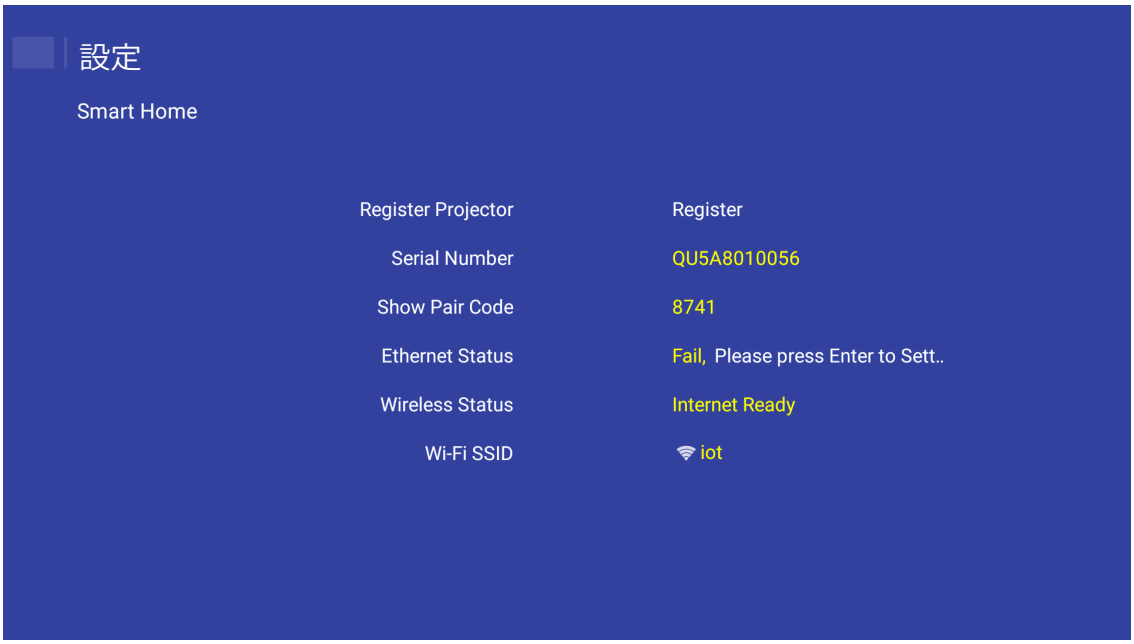
プロジェクターを使用する

プロジェクターを Device Cloud に登録する

Smart Home を選択して、プロジェクターを Device Cloud に登録します。次に、リモコンの Enter またはプロジェクターのキーパッドの ↵ を押して、Smart Home メニューに入ります。



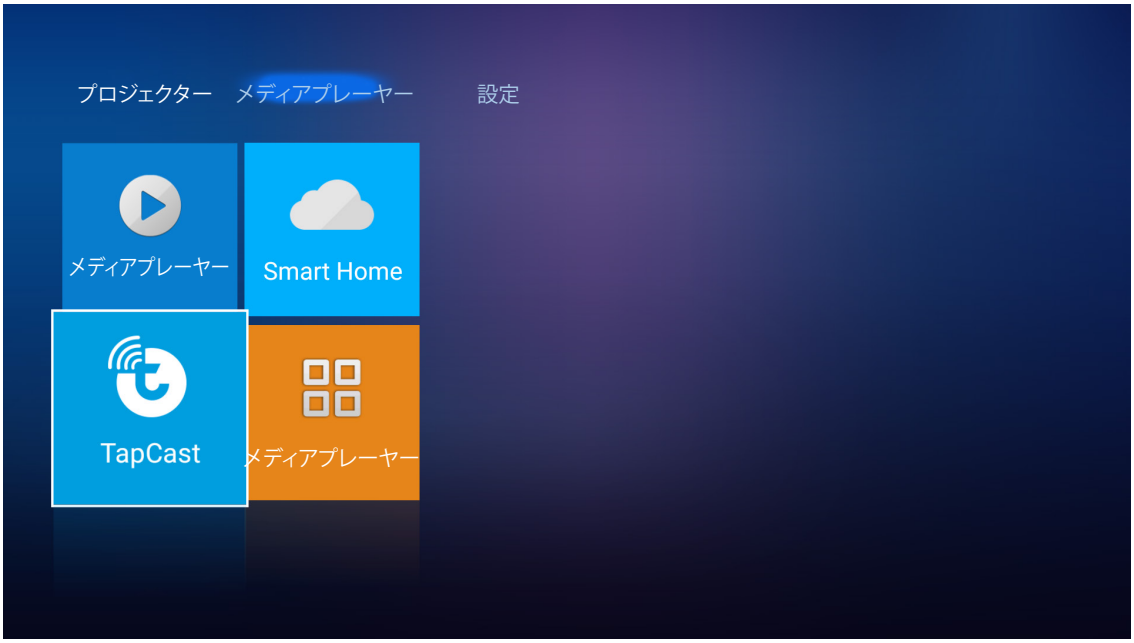
現在の設定パラメーターが、画面に表示されます。プロジェクターを Device Cloud に登録する

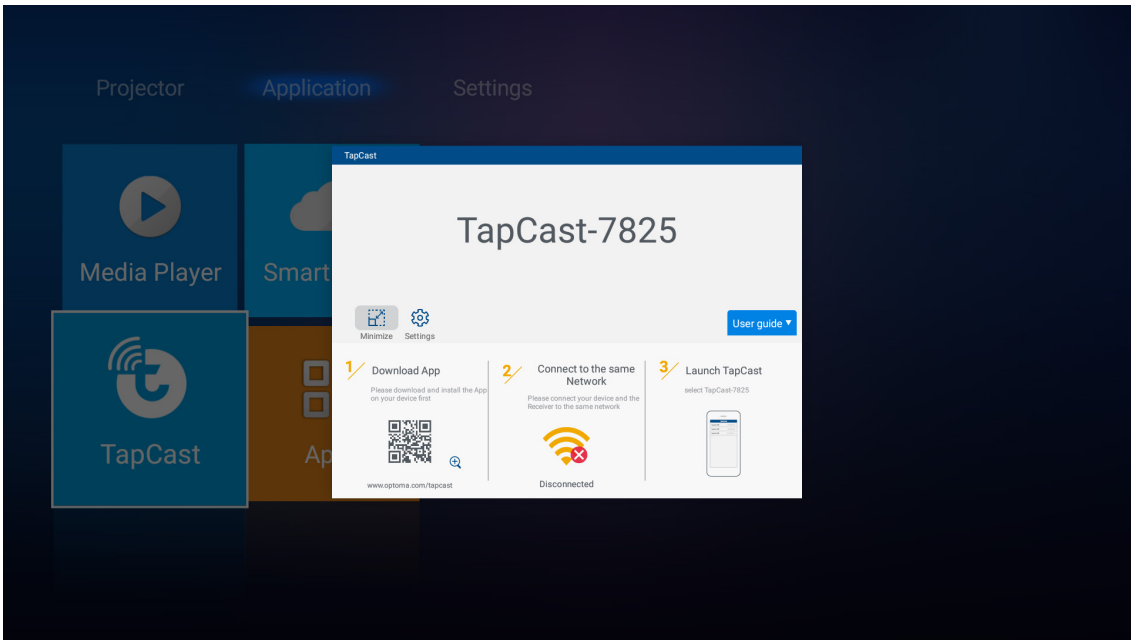


プロジェクターを使用する

ワイヤレスメディアストリーミング

TapCast を選択して、モバイルデバイスのディスプレーを Wi-Fi 接続を介して、プロジェクターに投射します。次に、リモコンの入力またはプロジェクターのキーパッドの ↵ を押して、TapCast 画面に入ります。





1. 初めて TapCast ディスプレー機能を使用するときは、モバイルデバイスに TapCast アプリケーションをダウンロード・インストールしてください。
   ***注記：** 画面に表示される QR コードをスキャンする。*
2. プロジェクターで、Wi-Fi ドングルを挿入し、設定 > ネットワーク > ワイヤレス設定 (Wi-Fi ディスプレー) に進みます。次に、Wi-Fi 設定をオンに設定します。
3. プロジェクターを利用可能なネットワークに接続します。詳細については、page 51 を参照してください。
4. モバイルデバイスで、Wi-Fi 機能を有効にします。次に、プロジェクターと同じネットワークに接続します。
   重要!
   - プロジェクターとモバイルデバイスを同じ Wi-Fi ネットワークに接続する必要があります。
   - Wi-Fi ディスプレー動作中は、必ず、インターネットに接続してください。

プロジェクターを使用する

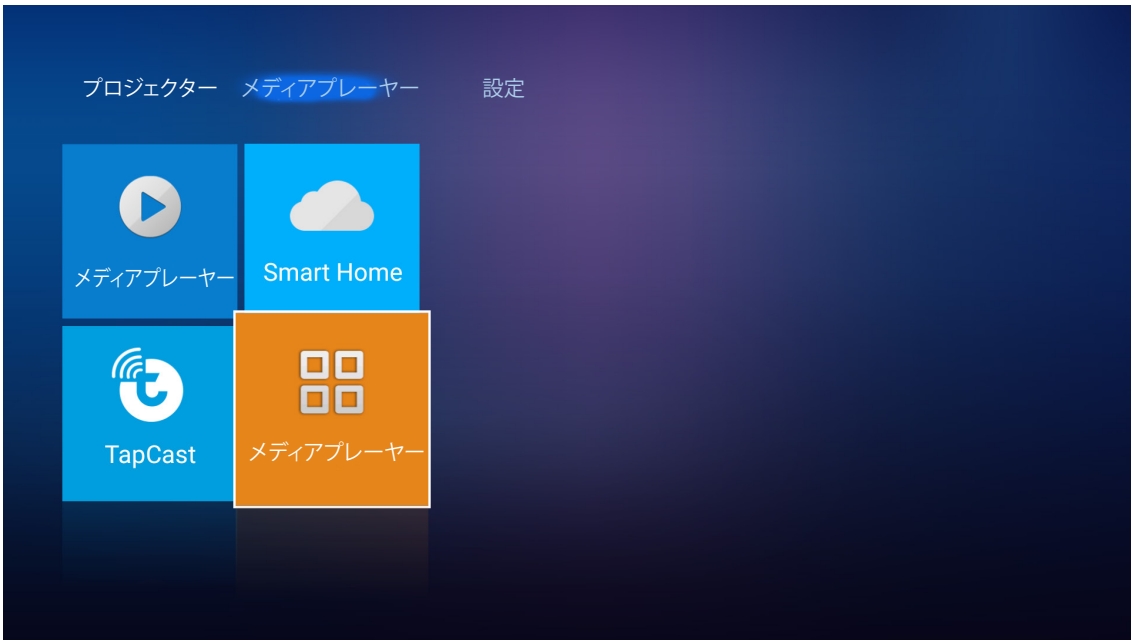
注記：接続方法は、ドングルのタイプにより異なります。詳細は、そのマニュアルを参照してください。

5. 「TapCast」アプリケーションを起動し、ドングルに接続します。
6. 接続されると、モバイルデバイスのディスプレーが、スクリーンに投射されます。

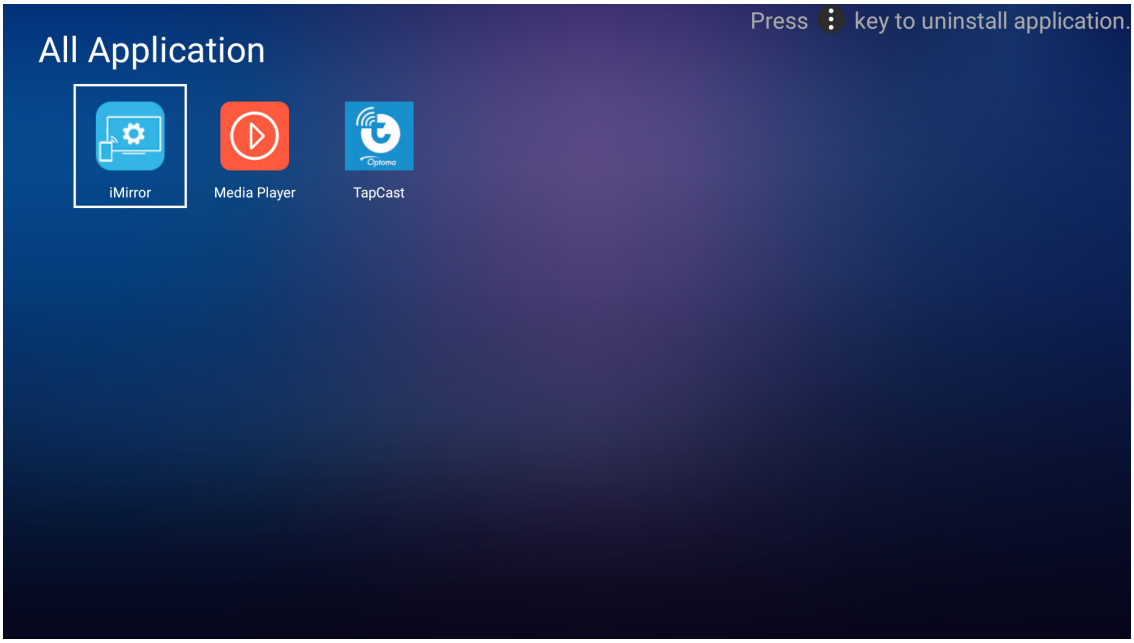
アプリケーション設定

すべてのアプリにアクセスし

アプリリストを表示するには Apps（アプリ）を選択します。リモコンの Enter を押し、[アプリ] メニューを表示します。



◀▶ キーを用いて希望するアプリケーションを選択します。リモコンの Enter を押して選択したアプリケーションを起動します。



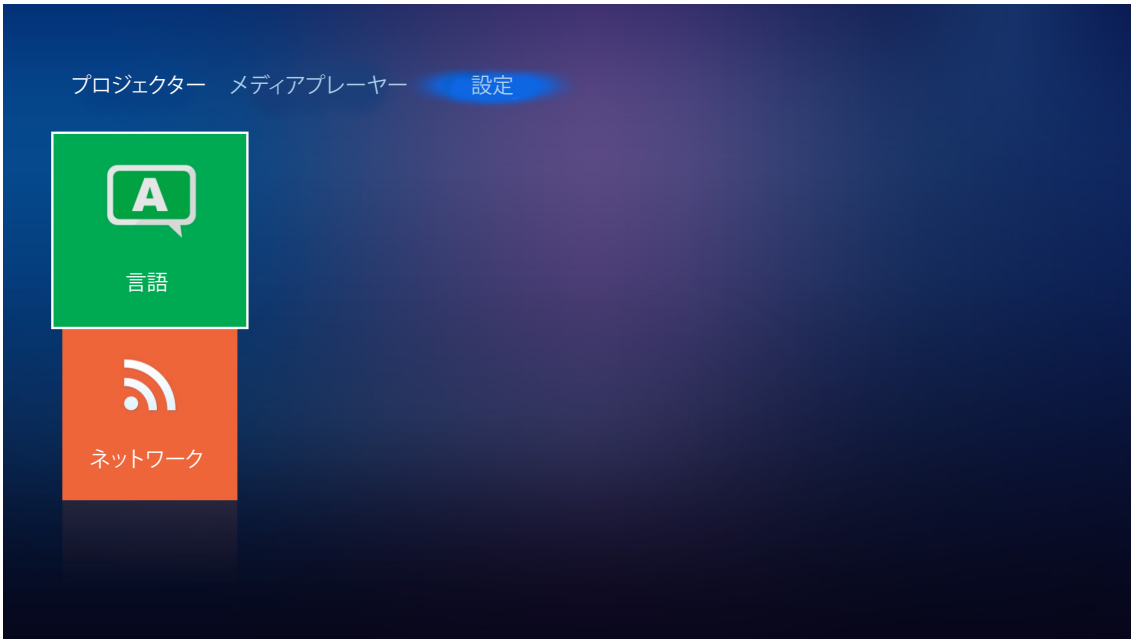
プロジェクターを使用する

一般設定

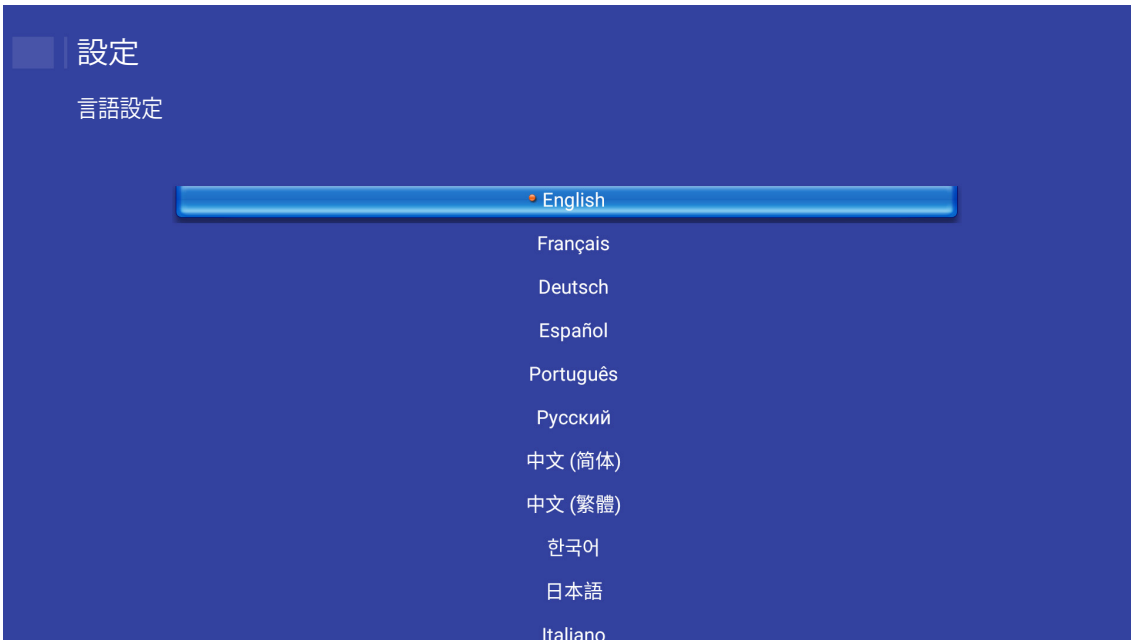
設定ホーム画面で、オンスクリーンディスプレイ (OSD) 言語を設定し、ネットワーク設定を構成することができます。
設定ホーム画面に切り替えるには、メインカテゴリの 1 つを選択し、◀▶ キーを使用して、**設定**を選択します。

OSD 言語の変更

言語を選択して、オンスクリーンディスプレイ言語を設定します。次にリモコンの**入力**またはプロジェクターのキーパッドの ↵ を押して、**言語**メニューに入ります。



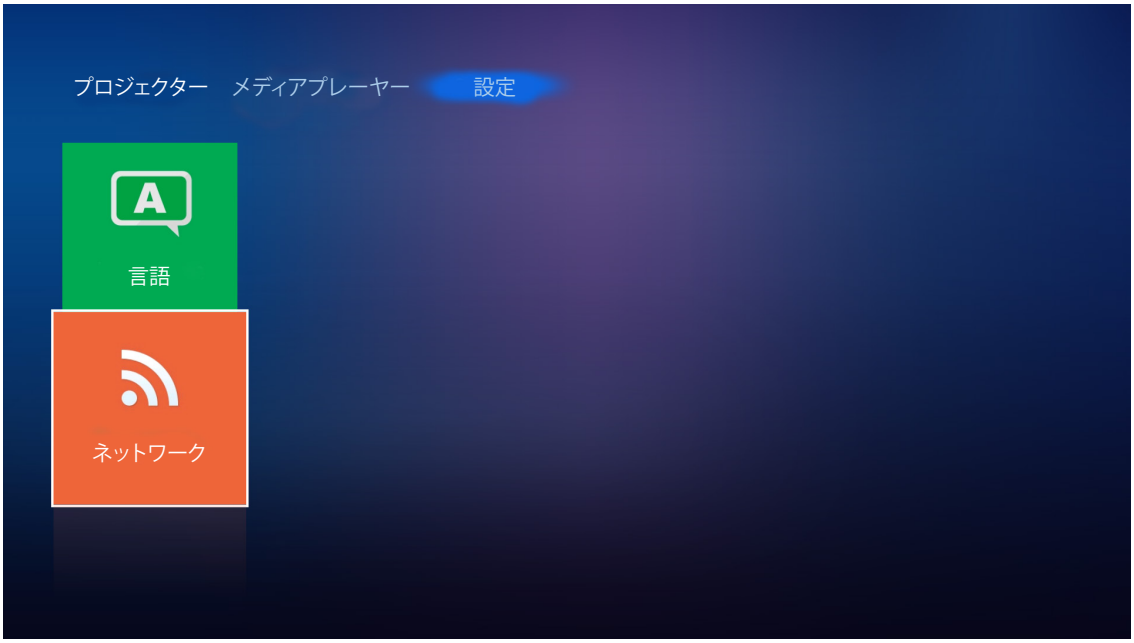
利用可能な言語が画面に表示されます。希望の言語を選択し、**入力**/↵を押して、選択を確認します。



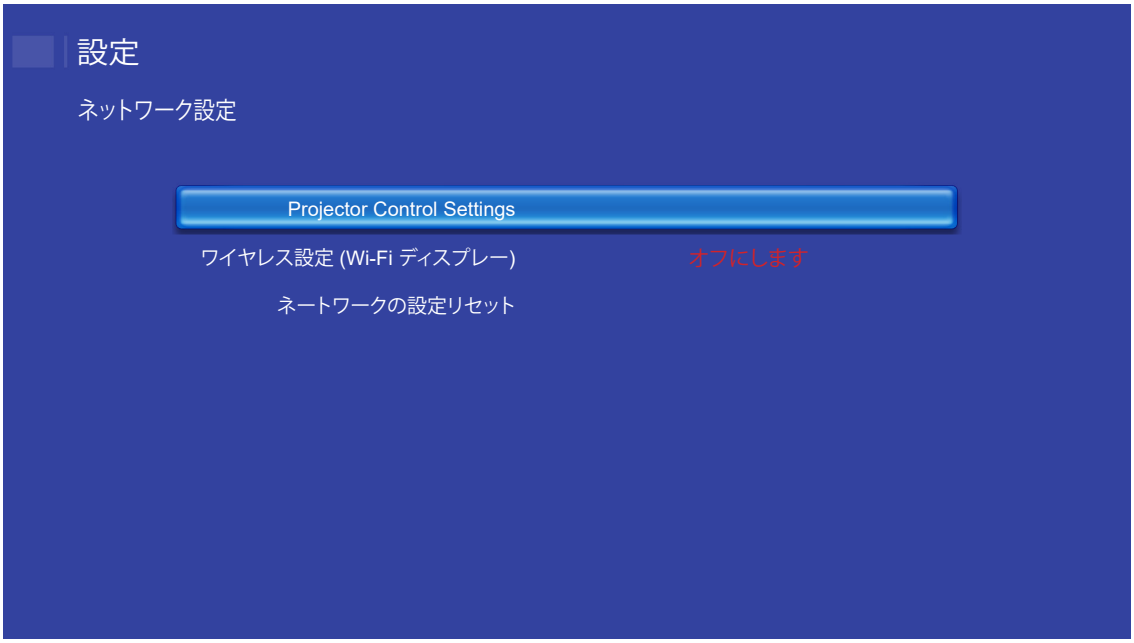
プロジェクターを使用する

ネットワーク設定の構成

ネットワークを選択して、ネットワーク設定を構成します。次にリモコンの**入力**またはプロジェクターのキーパッドの ↵ を押して、**ネットワーク**メニューに入ります。



Projector Control Settings を選択します。次に必要な設定を行います。

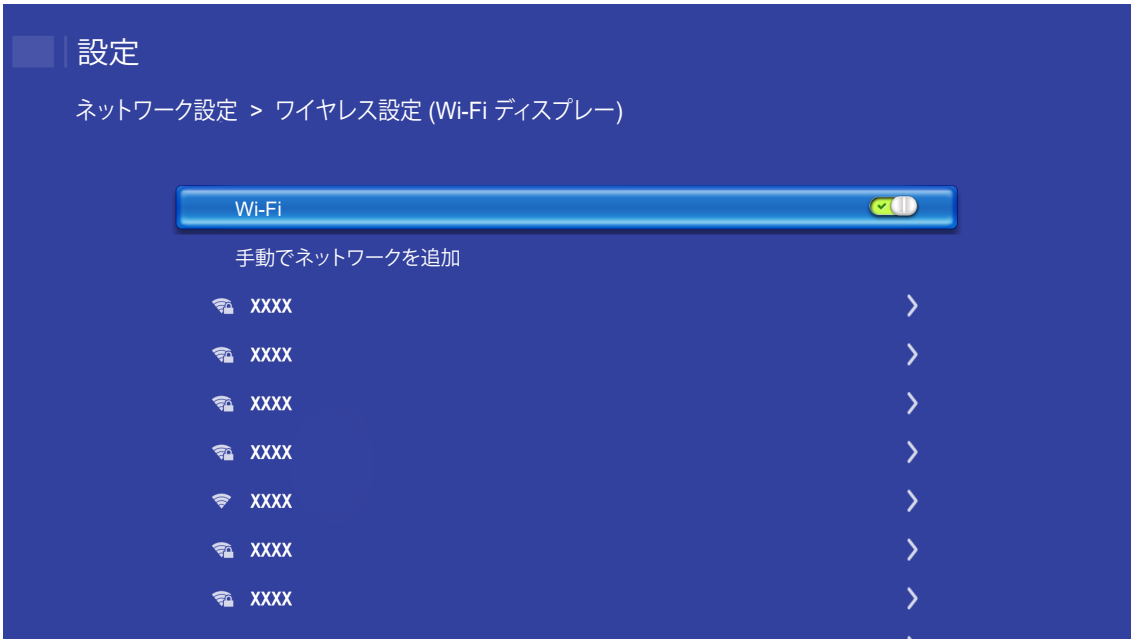


プロジェクターを使用する

注記: *ワイヤレス接続を構成するには、**ワイヤレス設定 (Wi-Fi ディスプレー)** を選択して、以下を行います:*

a. まず、Wi-Fi ドングルを挿入し、次に、Wi-Fi 機能を有効にします。

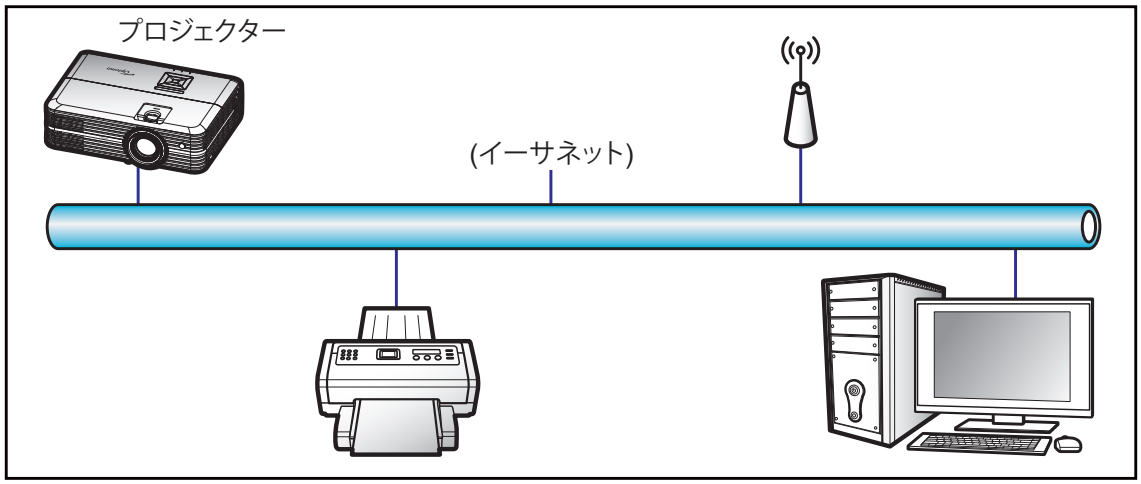
b. リストから利用可能な Wi-Fi ネットワークに接続します。
セキュアな Wi-Fi ネットワークに接続する場合、求められたら、パスワードを入力する必要があります。



プロジェクターを使用する

LAN_RJ45 機能

操作を簡単にするために、プロジェクターは多様なネットワーク機能とリモート管理機能を備えています。



有線 LAN 端末機能

このプロジェクターは PC (ラップトップ) またはその他の外部デバイスを利用し、LAN/RJ45 ポートと互換性のある Crestron / Extron / AMX (デバイス検出) / PJLink を介して制御できます。

- Crestron は米国の Crestron Electronics, Inc. の登録商標です。
- Extron は米国の Extron Electronics, Inc. の登録商標です。
- AMX は米国の AMX LLC の登録商標です。
- PJLink は JBMIA を通して日本、米国、その他の国で商標とロゴの登録を申請しました。

このプロジェクターは Crestron Electronics コントローラーと関連ソフトウェア、たとえば、RoomView® の指定のコマンドに対応しています。

http://www.crestron.com/

このプロジェクターは Extron デバイスに対応しているのでご参照ください。

http://www.extron.com/

このプロジェクターは AMX (デバイス検出) に対応しています。

http://www.amx.com/

このプロジェクターは PJLink Class1 (バージョン 1.00) の全コマンドに対応しています。

http://pjlink.jbmia.or.jp/english/

プロジェクターを使用する

Ethernet Settings

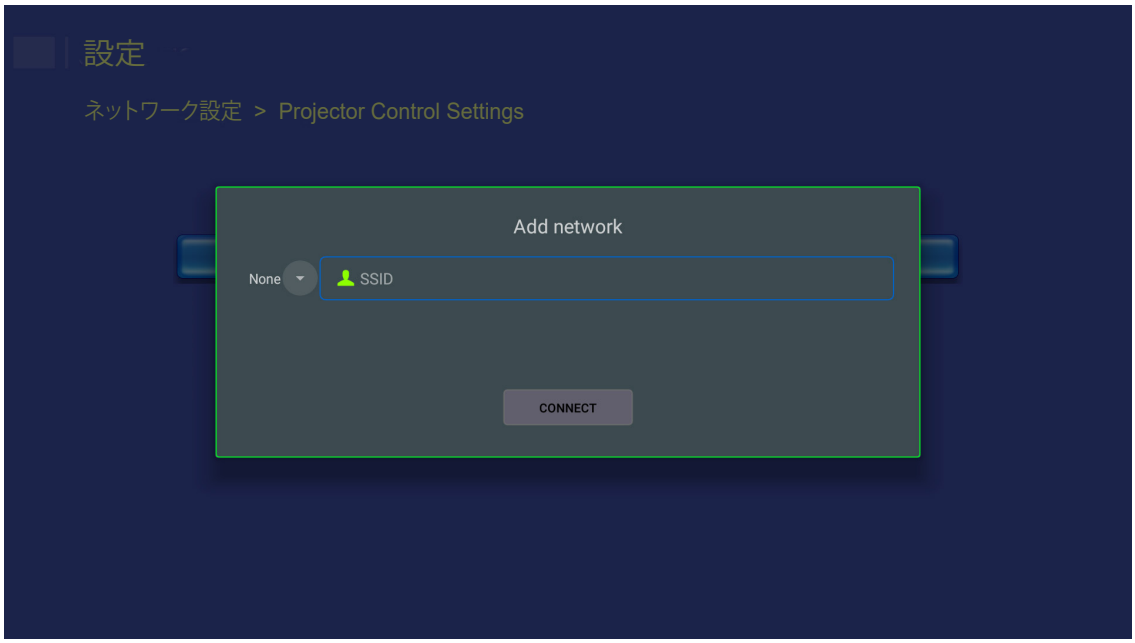
ネットワークパラメーターを構成します。



- DHCP: オフ
- IP アドレス: 192.168.0.100
- サブネットマスク: 255.255.255.0
- ゲートウェイ: 192.168.0.254
- DNS: 192.168.0.51

ワイヤレス設定

Alexaなどの様々なプロトコルを通してプロジェクターをワイヤレス操作するには、接続するワイヤレスネットワークを選択してください。



プロジェクターを使用する

プロジェクター制御機能

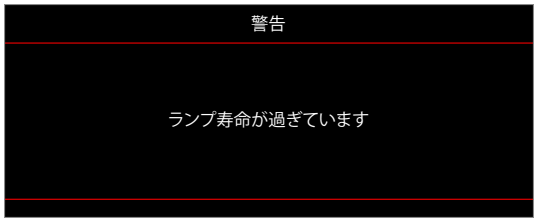
ネットワーク上でプロジェクターを監視・制御する方法を構成します。



保守管理

ランプの交換

プロジェクターは、ランプの寿命を自動的に検出します。ランプの寿命に近づくと、画面に警告メッセージが表示されます。



このメッセージが表示されたら、できる限り速やかに最寄りの販売店またはサービスセンターに連絡して、ランプを交換してください。ただし、ランプを交換する前に、プロジェクターが十分に放熱するまで約 30 分お待ちください。



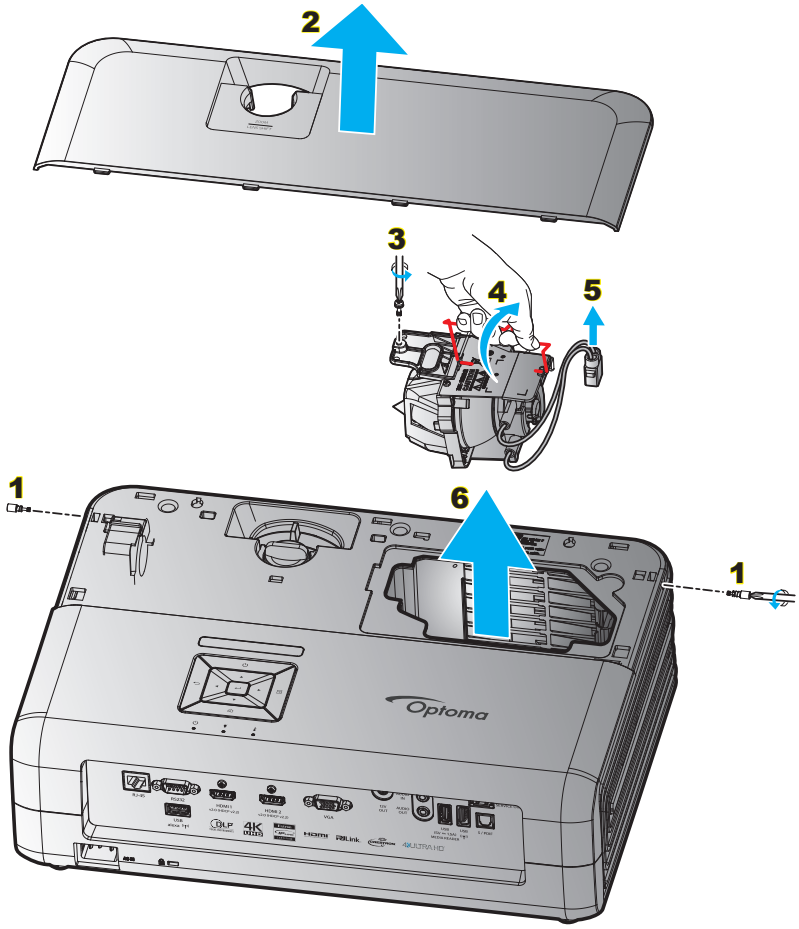
警告: 天上から吊り下げる場合、ランプ アクセス パネルを開けるときは注意してください。天井から吊り下げている状態で電球を交換する場合、安全メガネを着用することをお勧めします。プロジェクターからゆるんだ部品が落下しないように、注意を払う必要があります。

警告: ランプコンパートメントは熱くなっています! 放熱を待ち、ランプが十分に冷めてから交換してください!

警告: 怪我を防止するため、ランプを落下させたり、ランプのバルブに触れることのないようご注意ください。バルブが落下すると粉々に砕けて飛び散り、怪我をする恐れがあります。

保守管理

ランプの交換 (続き)



手順:

1. リモコンまたはプロジェクターのキーパッドにある [⏻] ボタンを押して、プロジェクターの電源をオフにします。
2. ランプが十分に冷めるまで約 30 分間お待ちください。
3. 電源コードを外します。
4. 上部カバーを固定している 2 本のネジを外します。1
5. 上部カバーを取り外します。2
6. ランプモジュールにあるネジを取り外します。3
7. ランプハンドルを持ち上げます。4
8. ランプコードを取り外します。5
9. ランプモジュールを慎重に取り外します。6
10. ランプモジュールを交換し、上記の手順を逆に繰り返します。
11. プロジェクターの電源をオンにし、ランプのタイマーをリセットします。
12. ランプリセット: (i) [メニュー] を押し、→ (ii) [プロジェクター設定] を選択し → (iii) [ランプ設定] を選択し → (iv) [ランプリセット] を選択し → (v) [はい] を選択します。

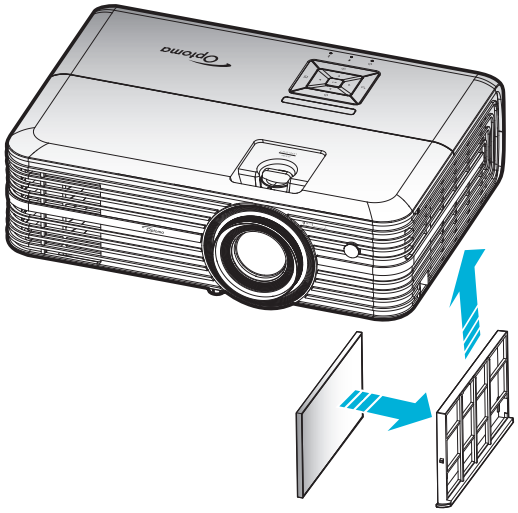
注記:

- プロジェクターにランプ カバーが戻されなかった場合、プロジェクターは動作しません。
- ランプのガラス部分には、触れないようにしてください。手の油分が付着すると、ランプが破裂する恐れがあります。誤ってガラス部分に触れてしまった場合は、乾いた布を使ってランプモジュールを拭いてください。

保守管理

ダストフィルターの取り付けと洗浄

ダストフィルターの取り付け



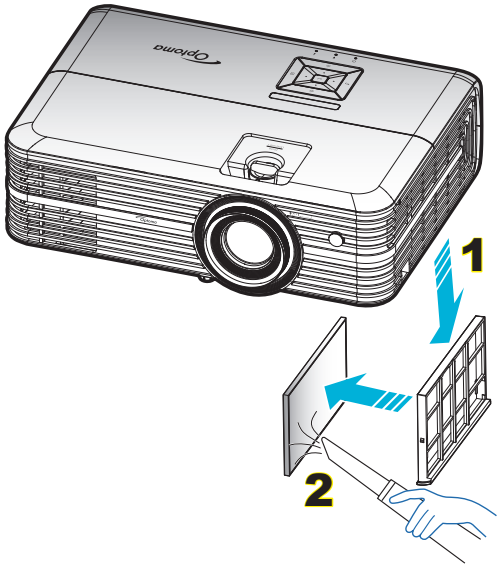
注記: *ダストフィルターは、埃が過度に多い選ばれた地域のみに必要または供給されます。*

ダストフィルターの洗浄

ダストフィルターを 3 ヶ月ごとに洗浄することをお勧めします。埃の多い環境でプロジェクターを使用する場合は洗浄の頻度を多くしてください。

手順:

1. リモコンまたはプロジェクターのキーパッドにある [⏻] ボタンを押して、プロジェクターの電源をオフにします。
2. 電源コードを外します。
3. ダストフィルターコンパートメントを下向きに引き、プロジェクターの下部から取り外します。1
4. エアフィルターを慎重に取り外します。その後、ダストフィルターを掃除または交換してください。2
5. ダストフィルターを取り付けるには、上記の手順を逆に繰り返します。



追加情報

対応解像度

デジタル (HDMI 1.4)

ネイティブ解像度: 1920 x 1080 @ 60Hz

確立されたタイミング	標準タイミング	ディスクリプターのタイミング	サポートされるビデオモード	詳細タイミング
720 x 400 @ 70Hz	1280 x 720 @ 60Hz	1920 x 1080 @ 60Hz (デフォルト)	720 x 480i @ 60Hz 16:9	1920 x 1080p @ 60Hz
640 x 480 @ 60Hz	1280 x 800 @ 60Hz		720 x 480p @ 60Hz 4:3	
640 x 480 @ 67Hz	1280 x 1024 @ 60Hz		720 x 480p @ 60Hz 16:9	
640 x 480 @ 72Hz	1920 x 1200 @ 60Hz (レデュースド)		720 x 576i @ 50Hz 16:9	
640 x 480 @ 75Hz	1366 x 768 @ 60Hz		720 x 576p @ 50Hz 4:3	
800 x 600 @ 56Hz			720 x 576p @ 50Hz 16:9	
800 x 600 @ 60Hz			1280 x 720p @ 60Hz 16:9	
800 x 600 @ 72Hz			1280 x 720p @ 50Hz 16:9	
800 x 600 @ 75Hz			1920 x 1080i @ 60Hz 16:9	
832 x 624 @ 75Hz			1920 x 1080i @ 50Hz 16:9	
1024 x 768 @ 60Hz			1920 x 1080p @ 60Hz 16:9	
1024 x 768 @ 70Hz			1920 x 1080p @ 50Hz 16:9	
1024 x 768 @ 75Hz			1920 x 1080p @ 24Hz 16:9	
1280 x 1024 @ 75Hz			3840 x 2160 @ 24Hz	
1152 x 870 @ 75Hz			3840 x 2160 @ 25Hz	
			3840 x 2160 @ 30Hz	
			4096 x 2160 @ 24Hz	

デジタル (HDMI 2.0)

ネイティブ解像度: 1920 x 1080 @ 60Hz

B0/確立タイミング	B0/標準タイミング	B1/ビデオモード	B1/詳細タイミング
720 x 400 @ 70Hz	1280 x 720 @ 60Hz	720 x 480i @ 60Hz 16:9	1920 x 1080p @ 60Hz
640 x 480 @ 60Hz	1280 x 800 @ 60Hz	720 x 480p @ 60Hz 4:3	
640 x 480 @ 67Hz	1280 x 1024 @ 60Hz	720 x 480p @ 60Hz 16:9	
640 x 480 @ 72Hz	1920 x 1200 @ 60Hz (レデュースド)	720 x 576i @ 50Hz 16:9	
640 x 480 @ 75Hz	1366 x 768 @ 60Hz	720 x 576p @ 50Hz 4:3	
800 x 600 @ 56Hz		720 x 576p @ 50Hz 16:9	
800 x 600 @ 60Hz		1280 x 720p @ 60Hz 16:9	
800 x 600 @ 72Hz		1280 x 720p @ 50Hz 16:9	
800 x 600 @ 75Hz		1920 x 1080i @ 60Hz 16:9	
832 x 624 @ 75Hz		1920 x 1080i @ 50Hz 16:9	
1024 x 768 @ 60Hz		1920 x 1080p @ 60Hz 16:9	
1024 x 768 @ 70Hz		1920 x 1080p @ 50Hz 16:9	
1024 x 768 @ 75Hz		1920 x 1080p @ 24Hz 16:9	
1280 x 1024 @ 75Hz		3840 x 2160 @ 24Hz	
1152 x 870 @ 75Hz		3840 x 2160 @ 25Hz	
		3840 x 2160 @ 30Hz	
		3840 x 2160 @ 50Hz	
		3840 x 2160 @ 60Hz	
		4096 x 2160 @ 24Hz	

追加情報

B0/確立タイミング	B0/標準タイミング	B1/ビデオモード	B1/詳細タイミング
		4096 x 2160 @ 25Hz	
		4096 x 2160 @ 30Hz	
		4096 x 2160 @ 50Hz	
		4096 x 2160 @ 60Hz	

注記: *1920 x 1080 @ 50Hz をサポートします。*

アナログ

ネイティブ解像度: 1920 x 1080 @ 60Hz

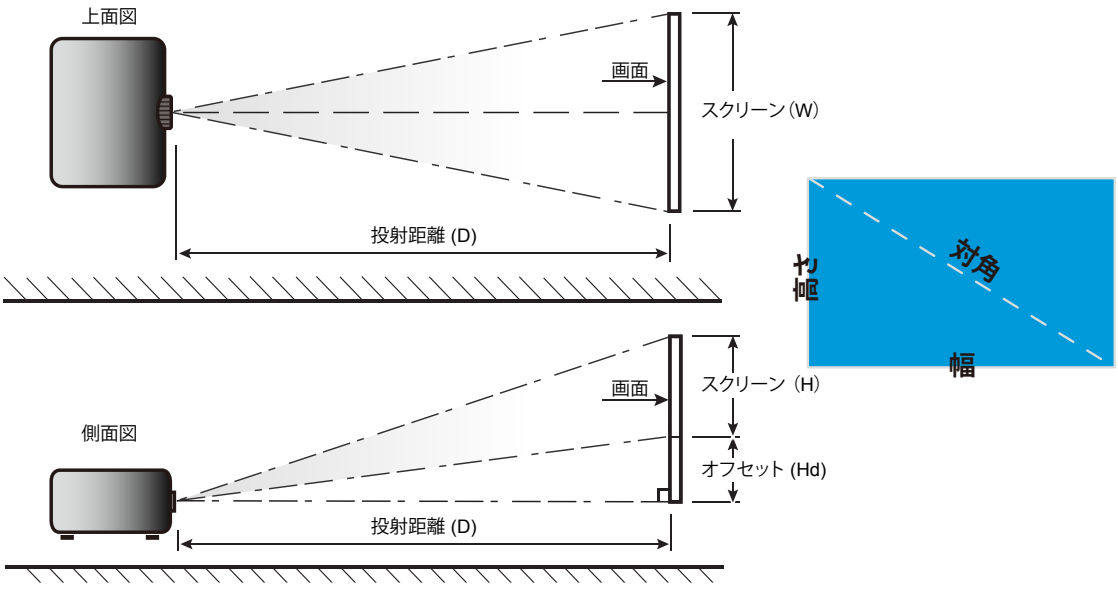
B0/確立タイミング	B0/標準タイミング	B0/詳細タイミング	B1/詳細タイミング
720 x 400 @ 70Hz	1280 x 720 @ 60Hz	1920 x 1080 @ 60Hz (デフォルト)	1366 x 768 @ 60Hz
640 x 480 @ 60Hz	1280 x 800 @ 60Hz		
640 x 480 @ 67Hz	1280 x 1024 @ 60Hz		
640 x 480 @ 72Hz	1400 x 1050 @ 60Hz		
640 x 480 @ 75Hz	1600 x 1200 @ 60Hz		
800 x 600 @ 56Hz			
800 x 600 @ 60Hz			
800 x 600 @ 72Hz			
800 x 600 @ 75Hz			
832 x 624 @ 75Hz			
1024 x 768 @ 60Hz			
1024 x 768 @ 70Hz			
1024 x 768 @ 75Hz			
1280 x 1024 @ 75Hz			
1152 x 870 @ 75Hz			

注記: *1920 x 1080 @ 50Hz をサポートします。*

追加情報

イメージサイズと投射距離

16:9 画面の対角長さ (インチ)	画面サイズ幅 x 高さ				投射距離 (D)				オフセット (HD)	
	(m)		(インチ)		(m)		(フィート)			
	幅	高さ	幅	高さ	広角	望遠	広角	望遠	(m)	(フィート)
30	0.66	0.37	25.97	14.61	-	1.05	-	3.44	0.02	0.07
40	0.89	0.50	34.86	19.61	1.07	1.41	3.51	4.62	0.03	0.09
60	1.33	0.75	52.29	29.42	1.61	2.11	5.27	6.93	0.04	0.13
70	1.55	0.87	61.01	34.32	1.88	2.46	6.15	8.08	0.05	0.16
80	1.77	1.00	69.73	39.22	2.14	2.82	7.03	9.23	0.05	0.18
90	1.99	1.12	78.44	44.12	2.41	3.17	7.91	10.39	0.06	0.20
100	2.21	1.25	87.16	49.03	2.68	3.52	8.78	11.54	0.07	0.22
120	2.66	1.49	104.59	58.83	3.21	4.22	10.54	13.85	0.08	0.27
150	3.32	1.87	130.74	73.54	4.02	5.28	13.18	17.31	0.10	0.34
180	3.98	2.24	156.88	88.25	4.82	6.34	15.81	20.78	0.12	0.40
200	4.43	2.49	174.32	98.05	5.36	7.04	17.57	23.08	0.14	0.45
250	5.53	3.11	217.89	122.57	6.70	8.80	21.96	28.85	0.17	0.56
300.6	6.65	3.74	262.00	147.37	8.05	-	26.40	-	0.21	0.68

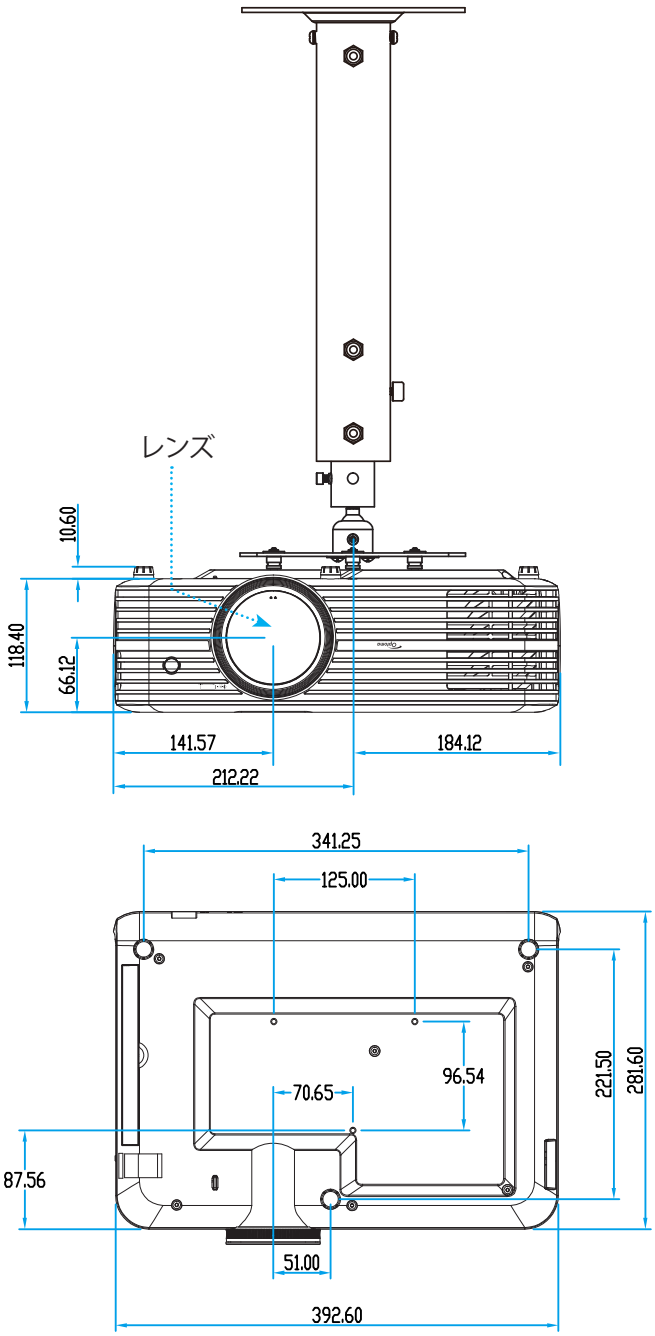


追加情報

プロジェクターの寸法と天井取り付け

1. プロジェクターの損傷を防ぐため、必ずOptoma の天吊り用パッケージを使用して取り付けてください。
2. 他社製の天吊りキットをご利用になる場合は、プロジェクターを取り付けるネジが以下の仕様に適合していることを必ず確認してください。

- ネジの種類: M4*3
- 最小ネジ長: 10mm



注記: *プロジェクターを正しく取り付けていないことが原因で発生した損傷に関しましては、保証は無効になります。予めご了承ください。*

警告:

- 他社製の天吊りキットをお求めになる場合、必ずネジのサイズが正しいことをご確認ください。ネジのサイズは、天吊りプレートの厚みによって異なります。
- プロジェクターの底部と天井の間には、少なくとも 10 cm の隙間が開くようにします。
- プロジェクターは、熱源の近くに設置しないで下さい。

追加情報

IR リモートコード



キー		キー番号	MTX.	アスペクト比	データ 0	データ 1	データ 2	データ 3	説明
電源オン/オフ	⏻	K12	04	F1	32	CD	71	8E	「プロジェクターの電源オン/オフ」(*19* ページ) を参照してください。
ソース		K3	11	F1	32	CD	18	E7	を押して、入力信号を選択します。
ホーム		K13	03	F1	32	CD	92	6D	を押して、ホーム画面に戻ります。
メニュー	☰	K8	17	F1	32	CD	0E	F1	☰ を押して、オンスクリーンディスプレー (OSD) メニューを起動します。OSD を終了するには、もう一度 ☰ を押します。
戻る	⮌	K4	10	F1	32	CD	86	79	⮌ を押して、前ページに戻ります。
上	▲	K7	18	F2	32	CD	11	EE	▲▼◀▶ を使用して、項目を選択する、または、選択に合わせて調整を行います。
左	◀	K14	02	F2	32	CD	10	EF	
右	▶	K5	09	F2	32	CD	12	ED	
下	▼	K2	19	F2	32	CD	14	EB	
入力	Enter	K9	16	F1	32	CD	0F	F0	選択した項目を確定します。
ミュート	🔇	K15	01	F1	32	CD	52	AD	🔇 を押して、プロジェクターの内蔵スピーカーのオフ/オンを切り替えます。
ディスプレーモード		K10	15	F1	32	CD	91	6E	を押して、ディスプレーモードメニューを表示します。ディスプレイモードメニューを終了するには、もう一度 を押します。
オプション	⋮	K6	08	F1	32	CD	25	DA	⋮ を押して、スマートテレビ設定を構成します。
音量 -	−	K11	12	F2	32	CD	0C	F3	− を押して、音量を小さくします。
音量 +	+	K1	05	F2	32	CD	09	F6	+ を押して、音量を大きくします。

追加情報

トラブルシューティング

プロジェクターに問題が発生した場合は、以下をご参照ください。それでも問題が解決しない場合、最寄りの販売店またはサービスセンターにお問い合わせください。

画像の問題

画面に画像が表示されない

- すべてのケーブルと電源が、[設置方法] の章に記載されている手順どおりに正しく接続されていることを確認してください。
- 各接続ピンが曲がっていたり、壊れていないかどうか、ご確認ください。
- ランプが確実に取り付けられているか確認してください。*56-57* ページの [ランプの交換] を参照してください。
- [ミュート] 機能がオンに設定されていないか確認してください。

画像のピントが合っていない

- プロジェクターレンズのフォーカスリングで調整してください。*17* ページを参照してください。
- 投射画面がプロジェクターから必要な距離の間に入っていることを確認してください。(*61* ページを参照してください)。

16:9 DVD タイトルを再生表示しているとき、画像が伸びる

- アナモフィック DVD または 16:9 DVD を再生しているとき、プロジェクターはプロジェクター側で 16:9 フォーマットで最高の画像を表示します。
- 4:3 フォーマット DVD タイトルを再生している場合、プロジェクター OSD で 4:3 としてフォーマットを変更してください。
- お使いの DVD プレーヤーで、16:9 (ワイド) アスペクト比タイプとして表示フォーマットをセットアップしてください。

画像が大きすぎる、または小さすぎる

- プロジェクター上部のズームレバーを調整します。
- プロジェクターを画面に近づけたり、遠ざけたりしてください。
- プロジェクターパネルの [メニュー] を押して、[ディスプレー設定-->アスペクト比] に進みます。別の設定を試してみます。

画像が横に傾く:

- 可能であれば、プロジェクターがスクリーンの中央下端に来るように配置し直してください。

画像が反転する

- OSD から [プロジェクター設定-->投射モード] を選択し、投射方向を調整します。

追加情報

ぼやけた二重画像

- 通常の 2D 画像がぼやけた二重画像にならないよう、[ディスプレーモード] が 3D でないことを確認してください。

2 つの画像、サイドバイサイドフォーマット

- [3D] --> [3D 映像フォーマット] を [サイド バイ サイド] に設定します。

その他の問題

プロジェクターがすべてのコントロールへの反応を停止します

- 可能であれば、プロジェクターの電源を切って電源コードを抜き、20 秒待ってから電源を接続し直してください。

ランプが消える、またはランプから破裂音がする

- ランプが寿命に近づくと、ランプはいずれ切れます。また、大きな破裂音が発生することがあります。この場合、ランプモジュールを交換しない限り、プロジェクターの電源を入れることはできません。[ランプの交換] (*56-57* ページ) に記載の手順に従ってランプを交換してください。

リモコンの問題

リモコンが作動しない場合、次を確認してください

- リモコンの操作角度が、プロジェクターの IR レシーバーから水平方向に ±15°以上、垂直方向に ±10°以上ずれていないことを確認します。
- リモコンとプロジェクターとの間に障害物がないことを確認する。プロジェクターから 7 m (約 22 フィート) 以内に移動する。
- 電池が正しくセットされていることを確認します。
- 電池が消耗したら交換してください。

追加情報

警告インジケータ

警告インジケータ (以下を参照) が点灯または点滅すると、プロジェクターは自動的にシャットダウンします:

- 「ランプ」LED インジケーターが赤く点灯し、「オン/スタンバイ」インジケーターが赤色に点滅している場合。
- 「温度」LED インジケーターが赤く点灯し、「オン/スタンバイ」インジケーターが赤色に点滅している場合。この状態は、プロジェクターが過熱していることを示しています。標準の条件下になると、プロジェクターのスイッチをオンにすることができます。
- 「温度」LED インジケーターが赤く点滅し、「オン/スタンバイ」インジケーターが赤色に点滅している場合。

プロジェクターから電源コードを抜き、30 秒後に再試行します。警告インジケータが点灯または点滅したら、最寄りのサービスセンターに連絡して対処法をお尋ねください。

LED 点灯メッセージ

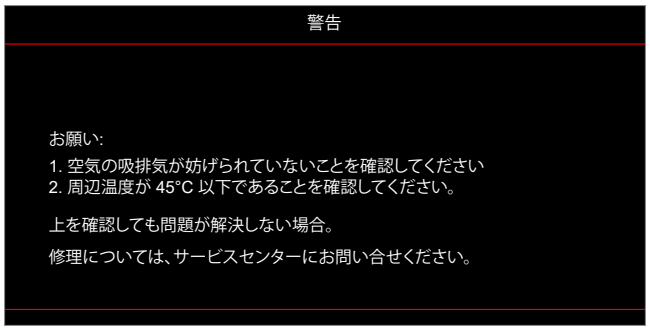
メッセージ	オン/スタンバイ LED		温度 LED	ランプ LED
	(赤)	(青)	(赤)	(赤)
スタンバイ状態 (入力電源コード)	点灯			
電源オン (ウォーミング)		点滅 (0.5 秒オフ / 0.5 秒オン)		
電源オン/ランプ点灯		点灯		
電源オフ (冷却)		点滅 (0.5 秒オフ / 0.5 秒オン)。 冷却ファンがオフになると、 赤の点灯に戻ります。		
エラー (ランプトラブル)	点滅			点灯
エラー (ファンが異常です)	点滅		点滅	
エラー (過熱)	点滅		点灯	
スタンバイ状態 (バーンインモード)		点滅		
バーンイン (警告)		点滅		
バーンイン (冷却中)		点滅		
バーンイン (ランプ点灯)		点滅 (3 秒オン/1 秒オフ)		
バーンイン (ランプオフ)		点滅 (1 秒オン/3 秒オフ)		

追加情報

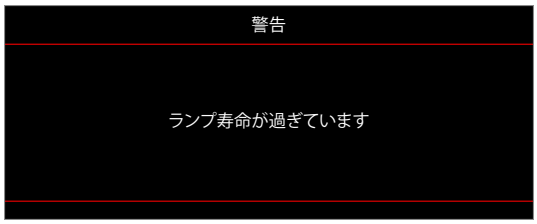
- 電源オフ:



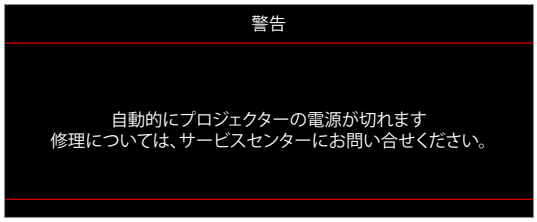
- 温度警告:



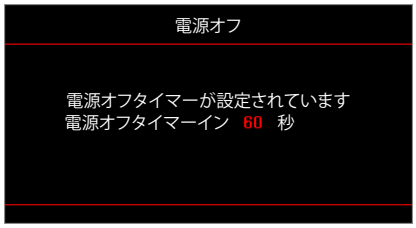
- ランプ警告:



- ファンのトラブル:



- 電源ダウン警告:



追加情報

仕様

光学	説明
最大解像度	- 最大グラフィック 2160p@60Hz - 最大解像度: HDMI1 (2.0): 2160p@60Hz HDMI2 (2.0): 2160p@60Hz
ネイティブ解像度	(アクチュエーターなし) 1920 x 1080
レンズ	手動ズームと手動フォーカス
イメージサイズ (対角)	34.1 インチ～ 302.4 インチ、最適化 @ ワイド 82 インチ (2.2m)
投射距離	1.2 ～ 8.1 m、最適化 @ 1.61 m

電気	説明
入力	- HDMI V2.0 x2 - VGA 入力 - オーディオ入力 3.5mm - USB-A x 2 (サービス用 1、Alexa 用 1) - USB3.0 (5V 電源 1.5A または USB/Wi-Fi ドングル用) - USB2.0 - RS232C オス (9 ピン D-sub 用) - RJ-45 (Web コントロールをサポート)
出力	- オーディオ出力 3.5mm - SPDIF 出力 - 12V トリガ (3.5mm ジャック)
色再現	10 億 7340 万色
スキャン速度	水平スキャン速度: 15.375 ～ 91.146 KHz 垂直スキャン速度: 24 ～ 85 Hz (3D 機能プロジェクターの場合 120Hz)
内蔵スピーカー	2x 5W スピーカー
電力要件	100 ～ 240V ±10%、AC 50/60Hz
入力電流	3.8A ～ 1.0A

機械	説明
取り付け方向	フロント、リア、フロント - 天吊り、リア - 上部
寸法 (幅 x 奥行 x 高さ)	- 392.6 x 281.6 x 118.4 mm (フットを除く) - 392.6 x 281.6 x 129 mm (フットを含む)
重さ	6.5 ± 0.5 kg
環境条件	5 ～ 40°C、10% ～ 85% 湿度 (結露なし) で動作

注記: *仕様はすべて予告なしで変更されることがあります。*

追加情報

Alexaのセットアップ

Alexaプロジェクターをセットアップしてリンクするには、QRコードをスキャンするか、次のURLにアクセスしてください：https://www.optoma.com/support/download

追加情報

Optoma 社グローバルオフィス

サービスやサポートにつきましては、現地オフィスにお問い合わせください。

アメリカ
47697 Westinghouse Drive,
Fremont, CA 94539, USA
www.optomausa.com
888-289-6786
510-897-8601
services@optoma.com

カナダ
47697 Westinghouse Drive,
Fremont, CA 94539, USA
www.optomausa.com
888-289-6786
510-897-8601
services@optoma.com

中南米及びメキシコ
47697 Westinghouse Drive,
Fremont, CA 94539, USA
www.optomausa.com
888-289-6786
510-897-8601
services@optoma.com

ヨーロッパ
Unit 1, Network 41, Bourne End Mills,
Hemel Hempstead, Herts,
HP1 2UJ, United Kingdom
www.optoma.eu
サービスダイヤル:
+44 (0)1923 691865
+44 (0) 1923 691 800
+44 (0) 1923 691 888
service@tsc-europe.com

Benelux BV
Randstad 22-123
1316 BW Almere
The Netherlands
www.optoma.nl
+31 (0) 36 820 0252
+31 (0) 36 548 9052

フランス
Bâtiment E
81-83 avenue Edouard Vaillant
92100 Boulogne Billancourt, France
+33 1 41 46 12 20
+33 1 41 46 94 35
savoptoma@optoma.fr

スペイン
C/ José Hierro,36 Of. 1C
28522 Rivas VaciaMadrid,
Spain
+34 91 499 06 06
+34 91 670 08 32

ドイツ
Wiesenstrasse 21 W
D40549 Düsseldorf,
Germany
+49 (0) 211 506 6670
+49 (0) 211 506 66799
info@optoma.de

スカンディナビア
Lerpeveien 25
3040 Drammen
Norway
+47 32 98 89 90
+47 32 98 89 99
info@optoma.no

PO.BOX 9515
3038 Drammen
Norway

韓国
WOOMI TECH.CO.,LTD.
4F, Minu Bldg.33-14, Kangnam-Ku,
Seoul,135-815, KOREA
korea.optoma.com
+82+2+34430004
+82+2+34430005

日本
東京都足立区綾瀬3-25-18
株式会社オーエス
コンタクトセンター: 0120-380-495
info@os-worldwide.com
www.os-worldwide.com

台湾
12F., No.213, Sec. 3, Beixin Rd.,
Xindian Dist., New Taipei City 231,
Taiwan, R.O.C.
www.optoma.com.tw
asia.optoma.com
+886-2-8911-8600
+886-2-8911-6550
services@optoma.com.tw

香港
Unit A, 27/F Dragon Centre,
79 Wing Hong Street,
Cheung Sha Wan,
Kowloon, Hong Kong
+852-2396-8968
+852-2370-1222
www.optoma.com.hk

中国
5F, No. 1205, Kaixuan Rd.,
Changning District
Shanghai, 200052, China
+86-21-62947376
+86-21-62947375
www.optoma.com.cn